

中国地方における訪日外国人 旅行者のレンタカー利用動向



公益財団法人

中国地域創造研究センター



報告内容

- 訪日外国人観光の状況(p3)
- 中国地方の状況(p4~10)
- データによる分析(p11~44)
 - 出発地・周遊地(p14~25)
 - 周遊パターン(p26~35)
 - 移動経路(p36~40)
 - 滞在時間(p41~44)
- 地域傾向(地域カルテ)(p45~54)

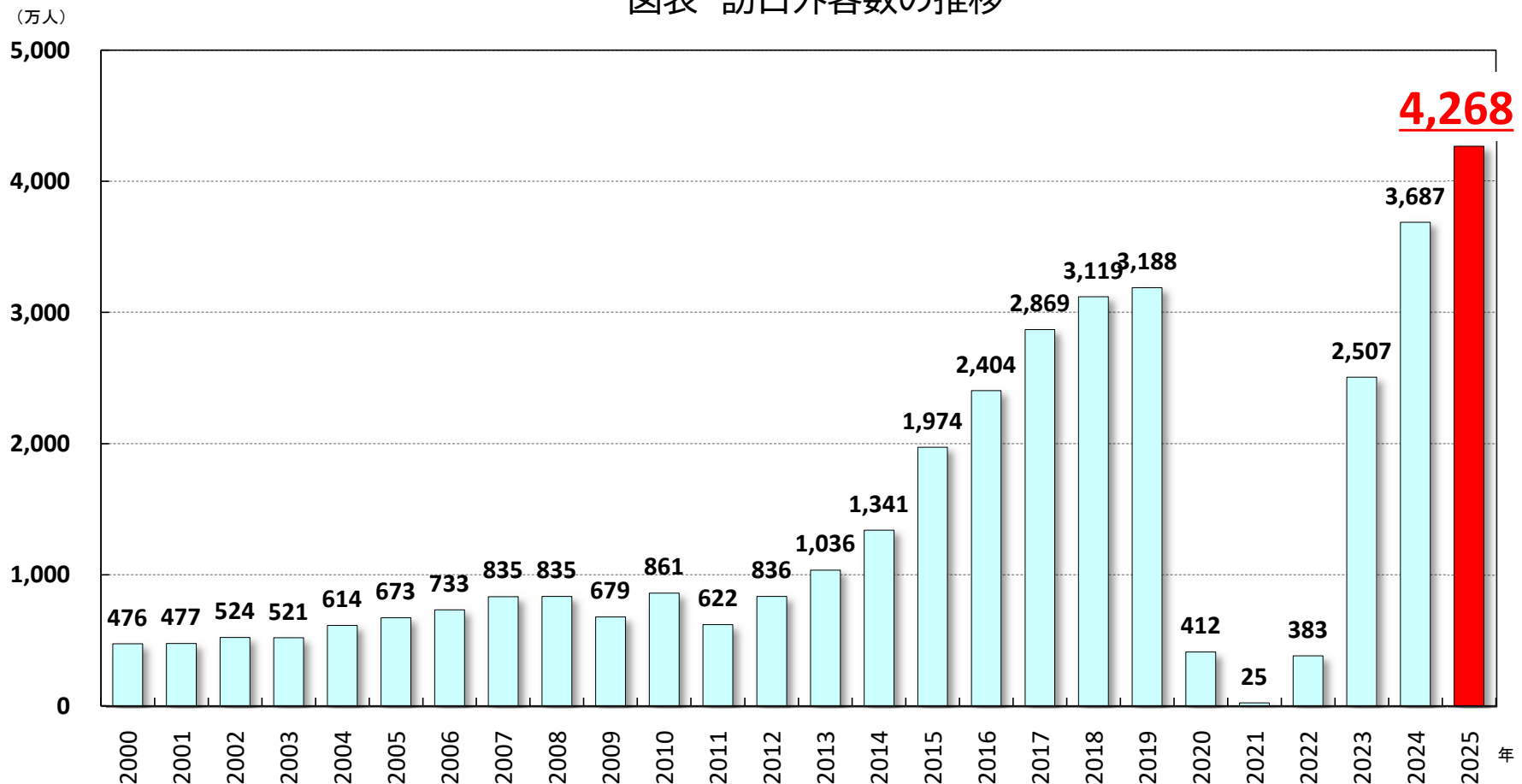


近年の訪日外国人旅行客

政府は「観光立国推進基本計画(第4次:2023~2025年度)」のもと、持続可能な観光地域づくりや地方誘客の強化など多面的な施策を展開している。

これらの取組に加え、近年の円安等の要因により、2025年の年間訪日外国人旅行客数は約4,268万人と過去最高を更新し、政府の掲げる「2030年:6000万人」の目標実現に向けて着実に増加している。

図表 訪日外客数の推移

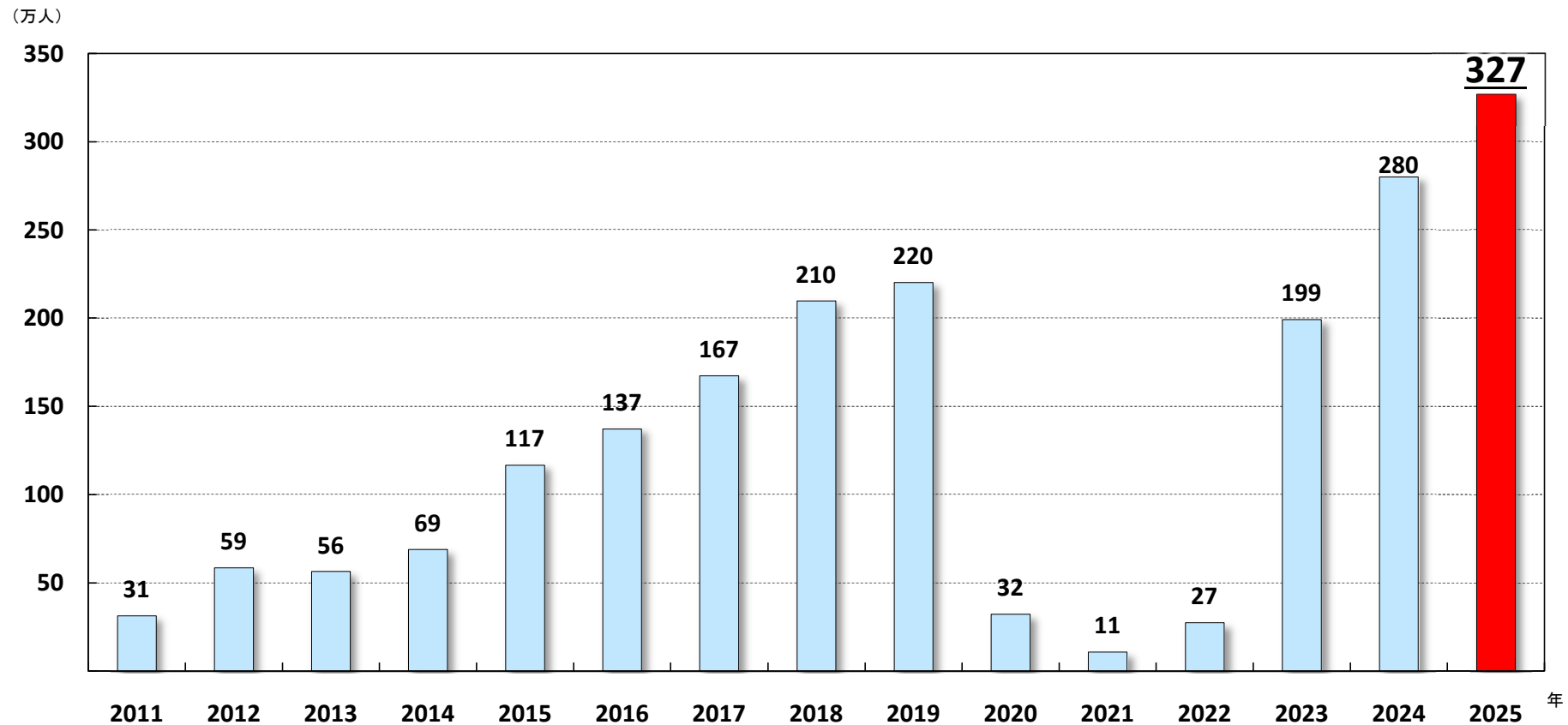


出典:日本政府観光局「訪日外客統計」

中国地方の訪日外国人旅行客(宿泊)

中国地方でも、データは異なるが、同様に訪日外国人旅行客数(延べ宿泊者数)は年々増加しており、2025年には327万人と過去最高となっている。

図表 外国人延べ宿泊者数 推移表



出典:観光庁「宿泊旅行統計調査」

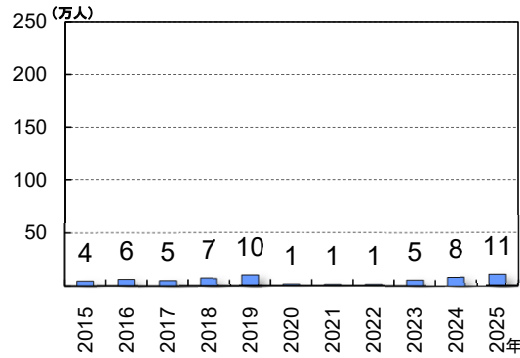
各県の訪日外国人旅行客(宿泊)

しかし、中国地方の各県で見ると、山陽側はコロナ前の水準を上回る増加がみられる一方で、山陰側は2025年にコロナ前に回復するなど、同じ中国地方でも差がみられる。

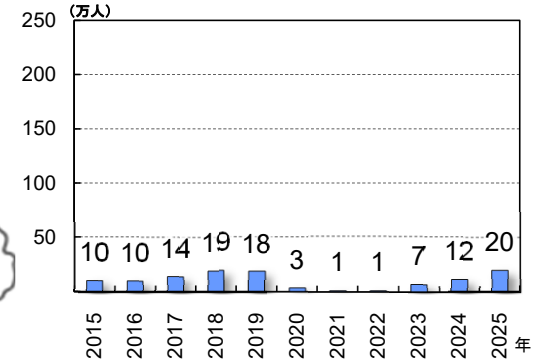
図表 外国人延べ宿泊者数 推移表



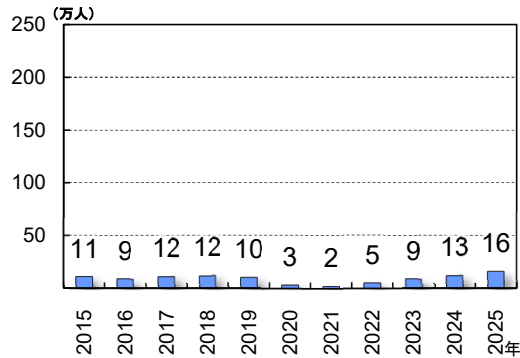
島根県



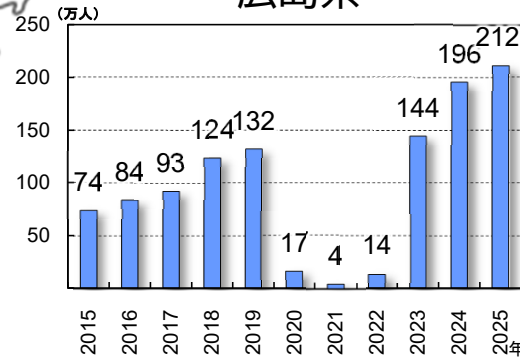
鳥取県



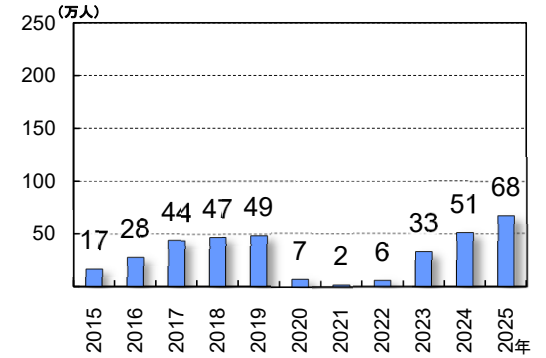
山口県



広島県



岡山県

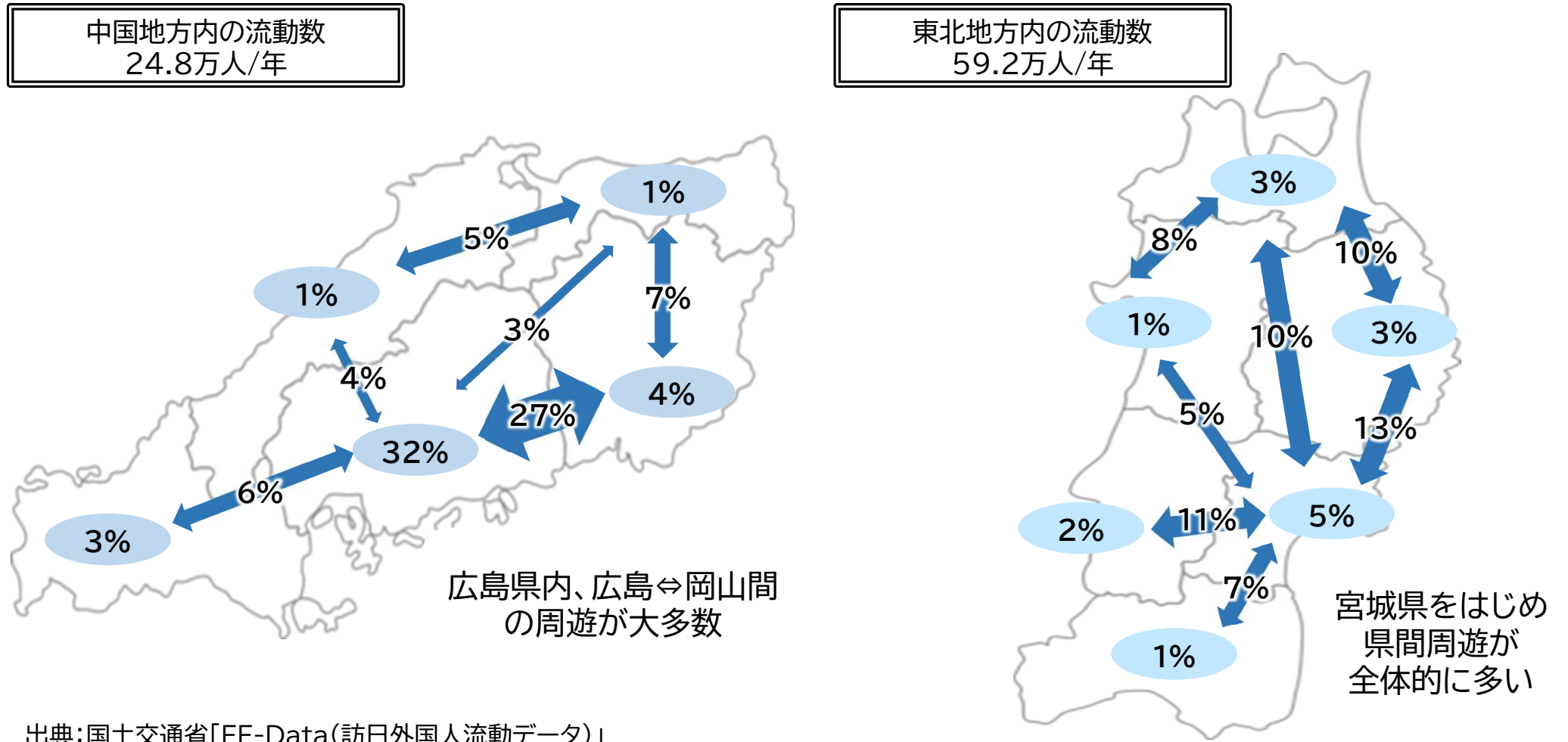


出典:観光庁「宿泊旅行統計調査」

地域内の周遊状況

一つの要因として、地域内の周遊観光の低さが考えられる。
中国地方の観光は自県、特に広島県内の周遊にとどまる傾向がある。
一方、東北地方は宮城県を起点の各県間の周遊が中国地方より多い。

図表 県間の流動割合(県間の流動数÷地域内総流動数)

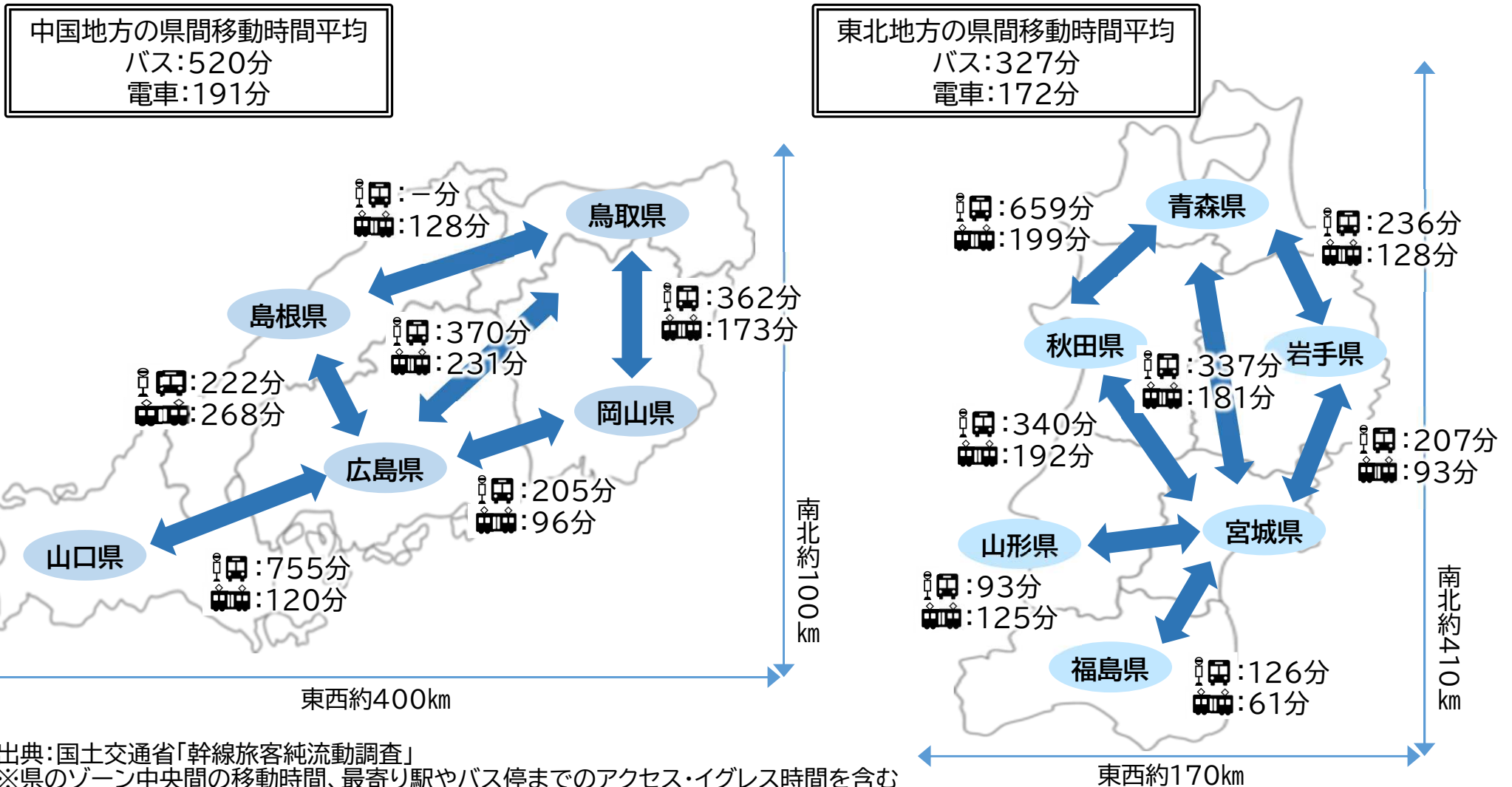


出典:国土交通省「FF-Data(訪日外国人流動データ)」

地域内の周遊が少ない要因

中国地方の地域内の周遊が低い要因として、県間移動の難しさが考えられる。中国地方は東北地方より小さいにも関わらず、公共交通である電車・バスの県間移動時間が長い傾向がある。

図表 県間の所要時間



出典:国土交通省「幹線旅客純流動調査」
※県のゾーン中央間の移動時間、最寄り駅やバス停までのアクセス・イグレス時間を含む

周遊観光の増加に向けて

県間のアクセスを向上させることが
中国地方の周遊観光を増やす一策だと考えられる。

しかし、

バス

- ・ドライバー不足

鉄道

- ・建設費の高騰
- ・大量輸送が大前提

タクシー

- ・ドライバー不足
- ・県間移動の場合、片道輸送は不採算

自動運転

- ・日本ではまだ先の話
 - 経済産業省のロードマップでは2026～2030年※
 - 人の幹線輸送(高速・県間移動など)の社会実験は未だなし

※経済産業省「自動運転サービス支援道ロードマップ」

周遊観光の増加に向けて

方策の一つとして

レンタカー利用の促進 が考えられる

【レンタカーのメリット】

- ・公共交通が少ないエリアでも自由に観光することができる。
- ・公共交通の待ち・乗り換え時間がないため、周遊箇所や滞在時間が増える。
- ・持ち物を気にする必要がないため、お土産などの消費が増える可能性がある。
- ・観光地のラストワンマイルにも対応できる。

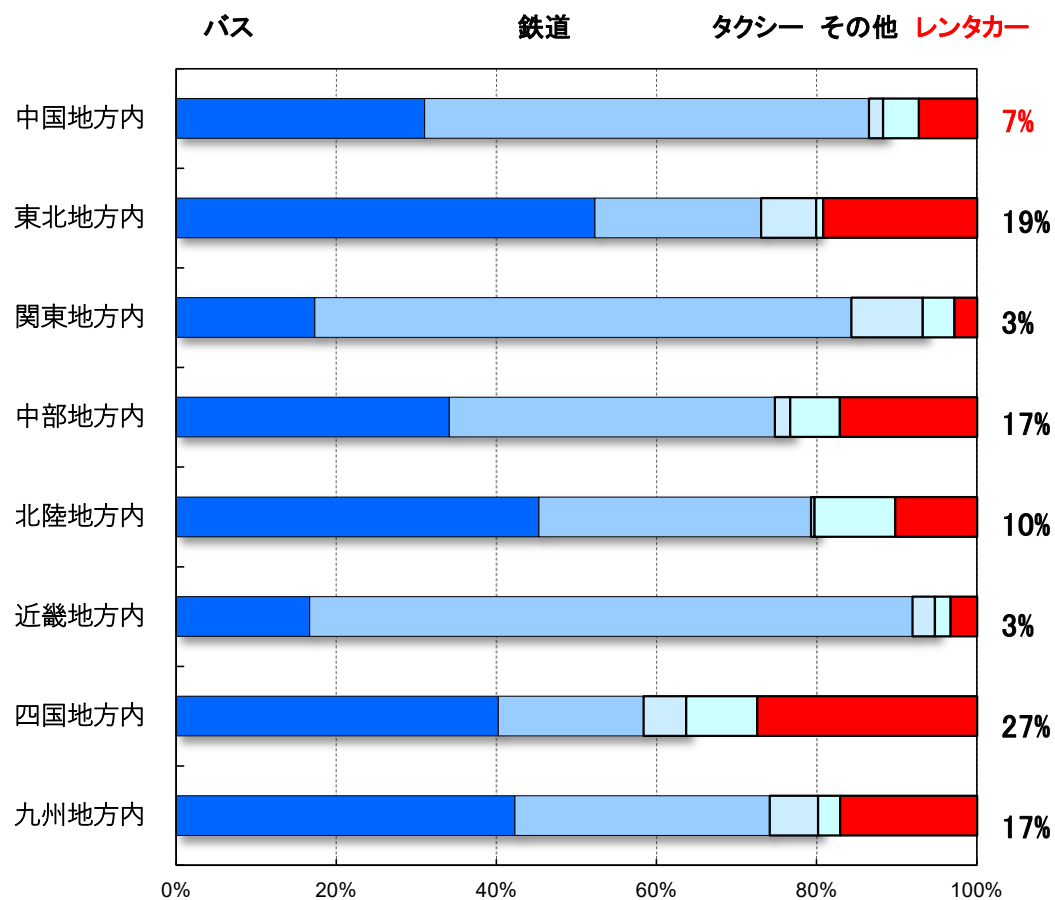
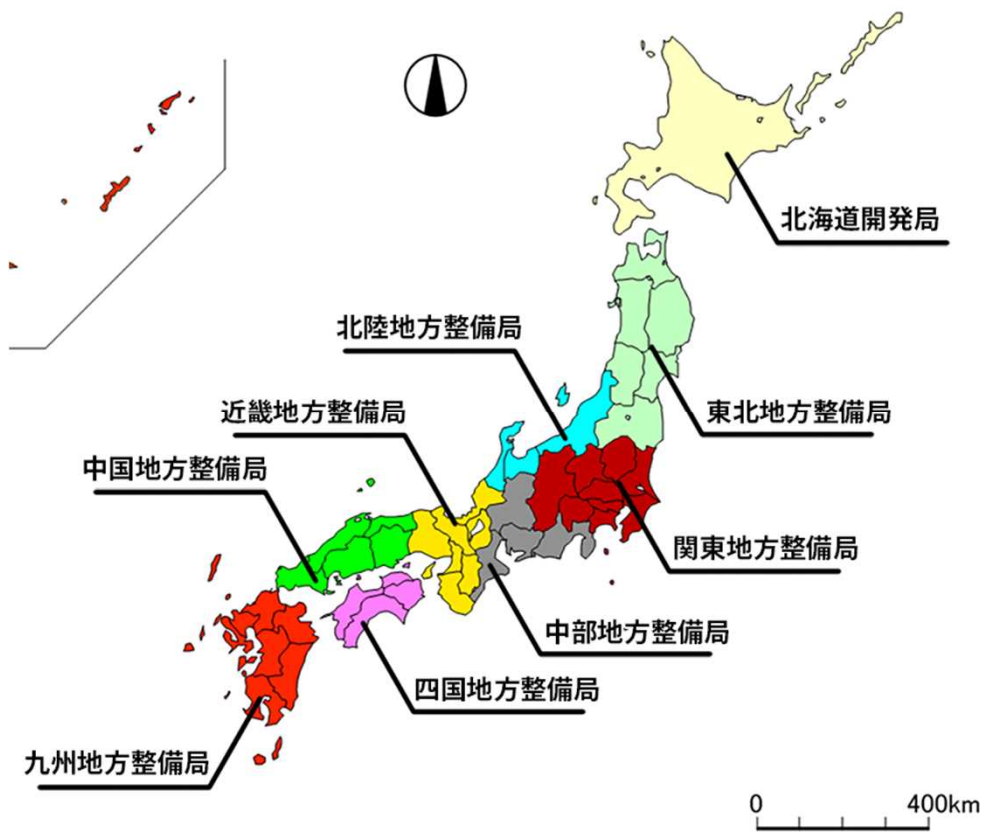


広島空港 レンタカー統合施設「RENT-A-CAR.Port のりんちゃんい」

レンタカー利用の現状

様々なメリットが考えられる訪日外国人旅行客のレンタカー利用だが、現状、レンタカー利用した観光移動の割合はわずかである。特に、中国地方は全国の他のエリアと比べてもレンタカー利用率が低い地域である。

図表 訪日外国人観光客の移動手段割合



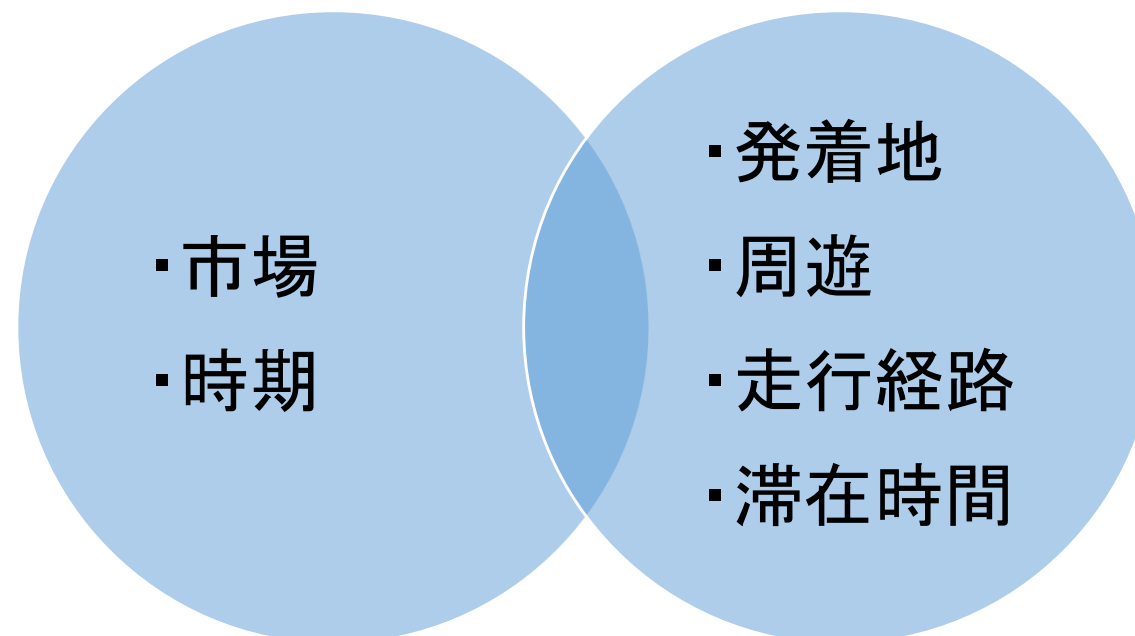
出典:国土交通省「FF-Data(訪日外国人流動データ)」

レンタカー利用促進のために

訪日外国人観光客のレンタカー利用を促進するためには、利用者の傾向を把握し、ターゲットを決めて取り組みを行うことが重要である。

しかし、レンタカーを利用する訪日外国人観光客のデータや調査は少ない。
(局所的な移動やアンケート調査はあっても、県間等の周遊データは少ない)

そこで中国運輸局では、中国地域創造研究センターと共同で、NEXCO西日本協力のもと訪日外国人観光客のレンタカーの利用動向について調査を行った。



利用データについて

本調査では訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データを用いて、訪日外国人観光客のレンタカー利用動向を調査した。

【データについて】

データは調査に協力いただいたレンタカー利用データである。
そのため、全ての利用者のデータではない。※おおよそ20%強のカバー率

図表 利用データ概要

データ期間	データ数(台)
2023年度	1,280
2024年度	1,473
2025年度(8月まで)	348

利用者	データ数(台)
台湾	1596
香港	1004
韓国	297
タイ	41
その他	163

【留意点】

- 有料区間の入口・出口しかわからないため、無料区間等のデータは取得できないため、これらの区間の分析は、集約や推計を行い分析を行っている。
- 調査対象者の発着地点が岡山と四国が多かったため、若干岡山よりの分析である点に留意

分析項目について

本調査では、以下の項目についての分析を行った。

○発着地分析

分析概要: 訪日外国人レンタカー利用者の乗降ICを整理

目的: 訪日外国人がレンタカーで訪れる観光地(IC)を確認

○周遊分析

分析概要: 訪日外国人レンタカー利用者の連続する乗降ICを整理

目的: 訪日外国人のレンタカーを利用した周遊パターンを確認

○走行経路分析

分析概要: 訪日外国人レンタカー利用者の走行経路を整理

目的: 通過観光地の把握

○滞在時間分析

分析概要: 訪日外国人レンタカー利用者の同一ICの出入時間を整理

目的: 外国人レンタカー利用者の滞在状況を確認

1. 発着地分析

訪日外国人観光客のレンタカー利用者の発地(出発)と着地(目的地)を分析し、外国人がレンタカーを利用して訪れる観光地(IC)の把握を行った。また、情報発信などために外国人レンタカー利用者の出発地(IC)の把握を行った。

発着地分析について

- 発着地分析の発地と着地は以下のような状況を集計し分析を行った。

例:A→B→C→D→Eの周遊の場合、

乗車
Aインター

レンタカー乗り始めのインターを発地として判定



降車
Bインター

降車したインターを着地として判定

乗車
Bインター

降車インターと次の乗車インターが同じ場合は集約
(降車インターのみ着地判定)



降車
Cインター

乗車
Dインター

降車インターと次の乗車インターが異なる場合は、それぞれを着地判定
(CインターからDインターまで一般道を利用した周遊があったと仮定)

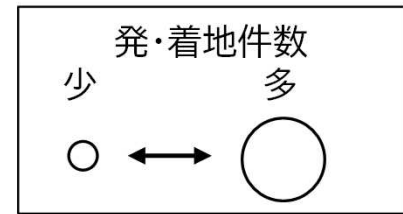
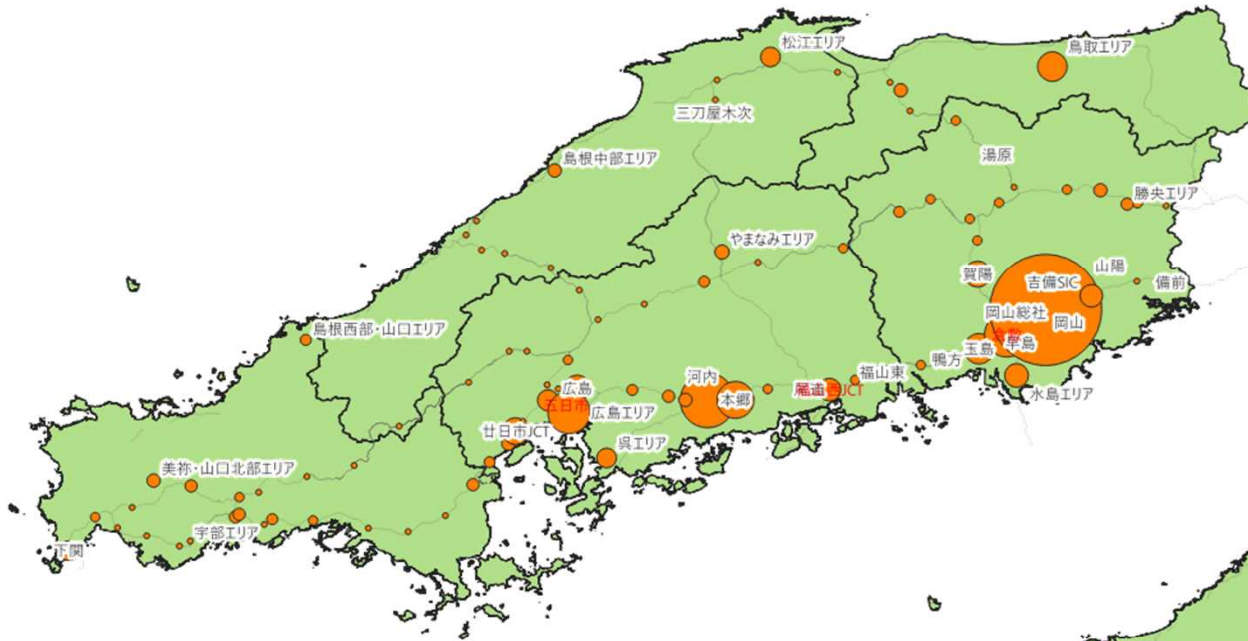
乗車
Eインター

このような場合は、発地をA、着地をB・C・D・Eと判定し分析を行った。

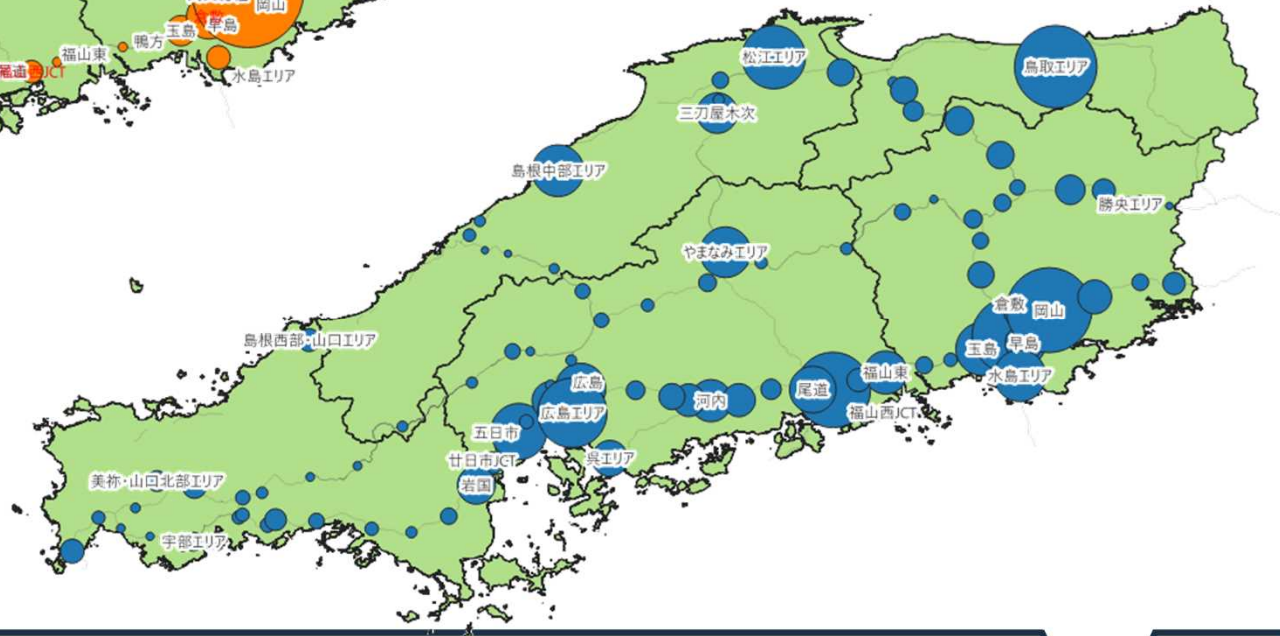
発着地

- 発地は、交通結節点である岡山ICや河内ICが多く、四国や関西からの利用者も多い。
- 着地は、広島IC、廿日市IC、尾道IC、岡山ICなど観光地が多い。
- 発地・着地ともほぼ全てのICで乗降があり、レンタカー利用者の周遊の広さが伺える。

図表 発地(レンタカー乗り始めIC:出発地)



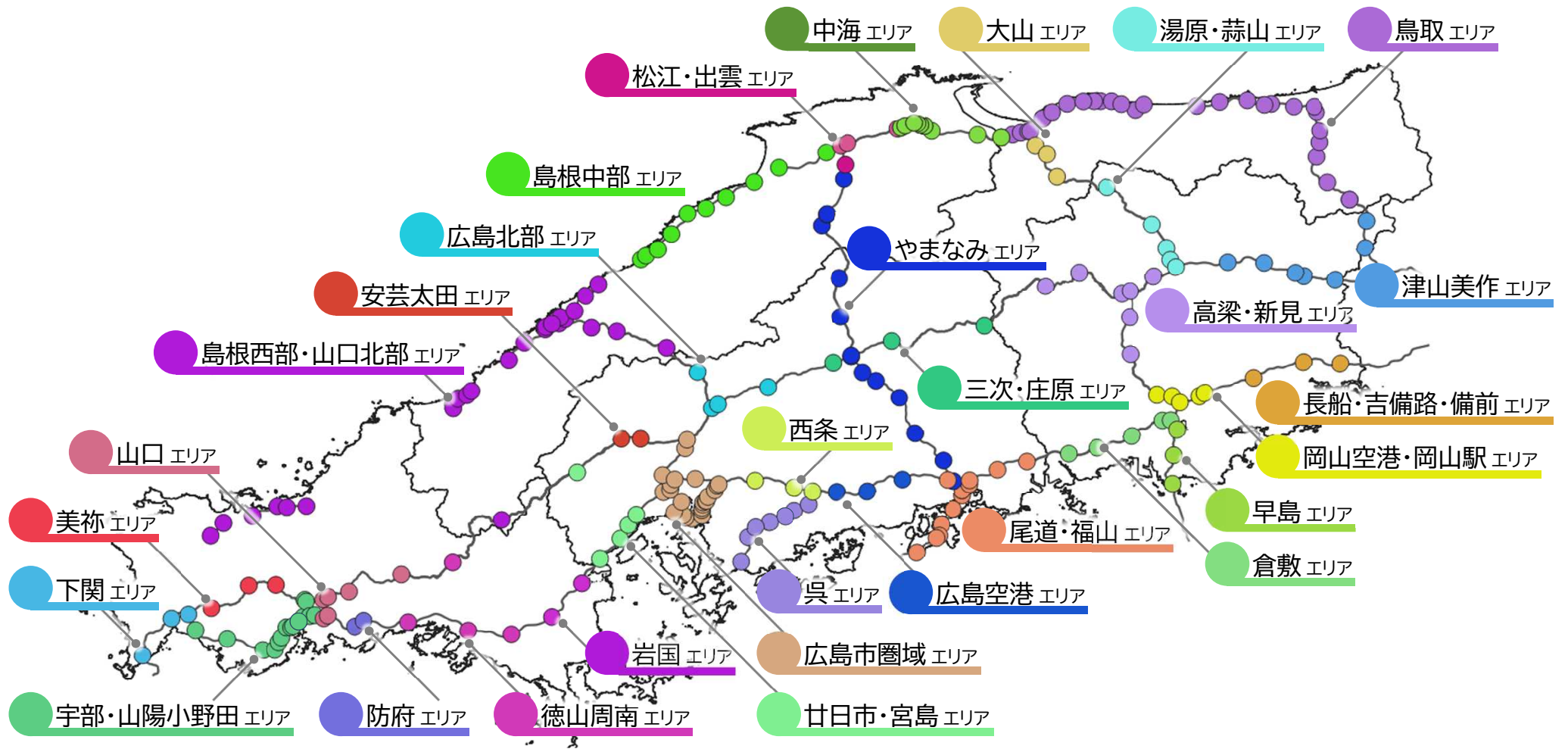
図表 着地(レンタカー降車IC:目的地)



※広島都市高速などのNEXCO管轄外道路や松江尾道道や山陰道などの無料期間は個別ICの乗降データがないため、本線料金所を基にエリアを集約して分析

発着地エリアの集約

IC単位だと傾向を把握することが困難なため、下記のようにICをエリアに集約し分析を行った。



発着地エリアの集約

集約した主なIC(主要ICやレンタカー利用のあったIC)は以下の通りである。
無料区間等のICも本線情報などを基に集約を行った。

エリア名	IC名
岡山空港・岡山駅エリア	岡山,吉備スマート,岡山総社,総社PA
高梁・新見エリア	賀陽,有漢,大佐スマート,新見,落合,北房
湯原・蒜山エリア	久世,上野PA,湯原,蒜山
長船・吉備路・備前エリア	山陽,備前,和気
倉敷エリア	倉敷,玉島,鴨方,笠岡
早島	早島,児島
津山・美作エリア	津山,院庄,作東,美作,勝央
安芸太田エリア	加計スマート,戸河内
広島市圏域エリア	広島北,広島東,五日市,広島西風新都,広島,沼田PAスマート,福田,温品,間所,温品JCT,大洲,東雲,仁保,宇品,出島,中広,沼田,観音,吉島,矢賀,府中
廿日市・宮島エリア	大竹,吉和,宮島スマート,廿日市,大野
三次・庄原エリア	三次,東城,庄原
やまなみエリア	三次東,甲奴,吉舎,三良坂,口和,高野,世羅,尾道北,尾道本線,吉田掛合,雲南吉田,吉田掛合
雲南エリア	雲南エリア
広島空港エリア	三原久井,本郷,河内
西条エリア	西条,志和,高屋
尾道・福山エリア	尾道,福山東,福山西,福山SAスマート
広島北部	高田,千代田,大朝

エリア名	IC名
呉エリア	坂,天応,天応東,天応西
下関エリア	小月,下関
岩国エリア	岩国,玖珂
山口エリア	徳地,山口,山口南,湯田温泉スマート
美祢市エリア	美祢,美祢西,美祢東
徳山周南エリア	鹿野,熊毛,徳山東,徳山西
防府エリア	防府東,防府西
宇部・山陽小野田エリア	宇部,小野田,埴生
島根西部・山口北部エリア※	三隅,長門湯本温泉,俵山北,明石,萩,三見,遠田,久城,高津,萩・石見空港,須子,石見三隅,原井,浜田港,西村,浜田,旭,金城スマート,浜田東,江津,江津西,六日市,瑞穂
松江・出雲エリア※	宍道,松江玉造
中海エリア※	米子西,安来,東出雲,竹矢,矢田,松江東,松江中央,松江西
島根中部エリア※	斐川,出雲,出雲多伎,石見福光,温泉津,湯里,仁摩・石見銀山,大田朝山,大田中央・三瓶山,太田静間
鳥取エリア※	智頭,智頭南,用瀬,河原,鳥取南,鳥取,青谷,鳥取西,吉岡温泉,瑞穂宝樹,浜村鹿野温泉,琴浦東,琴浦船上山,琴の浦,泊東郷,はわい,赤碕中山,淀江,淀江大山,名和,大山,中山スマート,米子,米子東,日野川東,米子南,米子中,大栄東伯
大山エリア	江府,溝口,大山高原

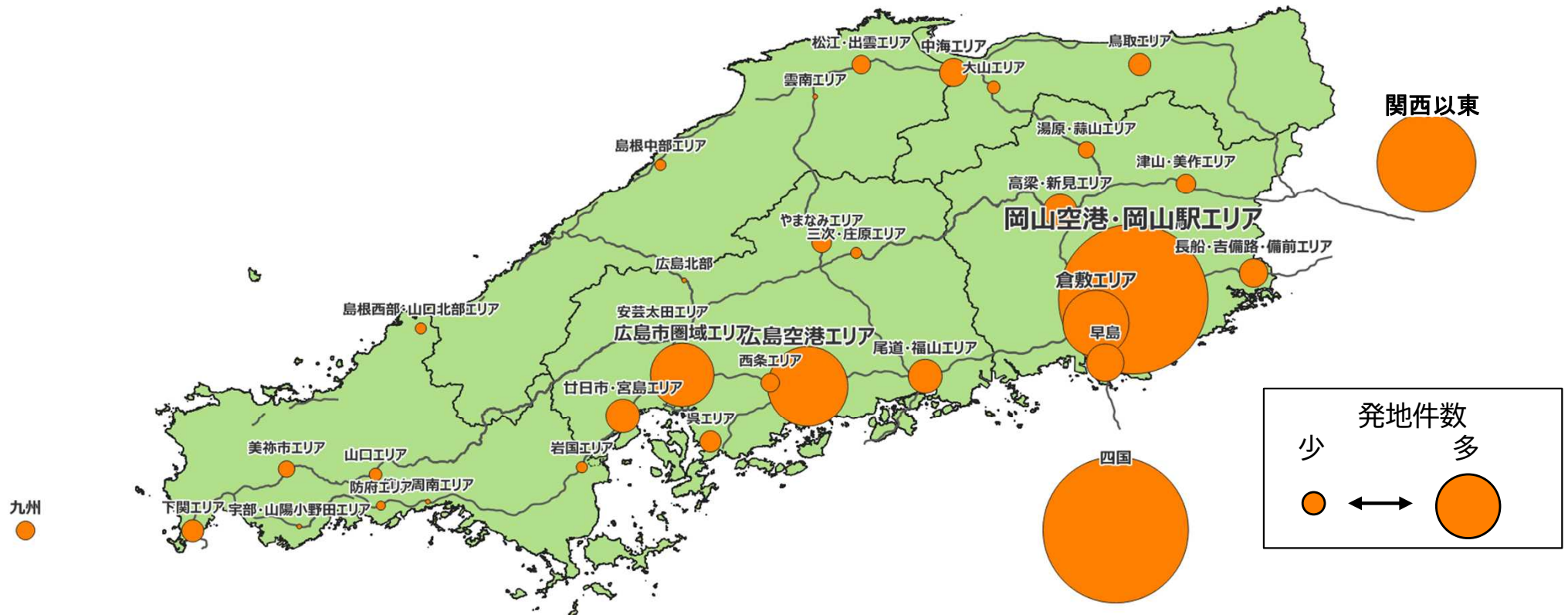
※鳥取県・島根県は無料区間(山陰道等)が多く、観光地ではなく、利用データの集約精度を重視した集約である点ご了承ください

発地(出発地)

改めて集約したエリア毎に発地を見ると、

- 主要交通結節点(広島駅、岡山駅、広島空港、岡山空港)周辺からの開始が多い。
- 四国や関西以东を起点に中国地方をレンタカーで観光する訪日客も多い

図表 発地(レンタカー乗り始めIC:出発地)



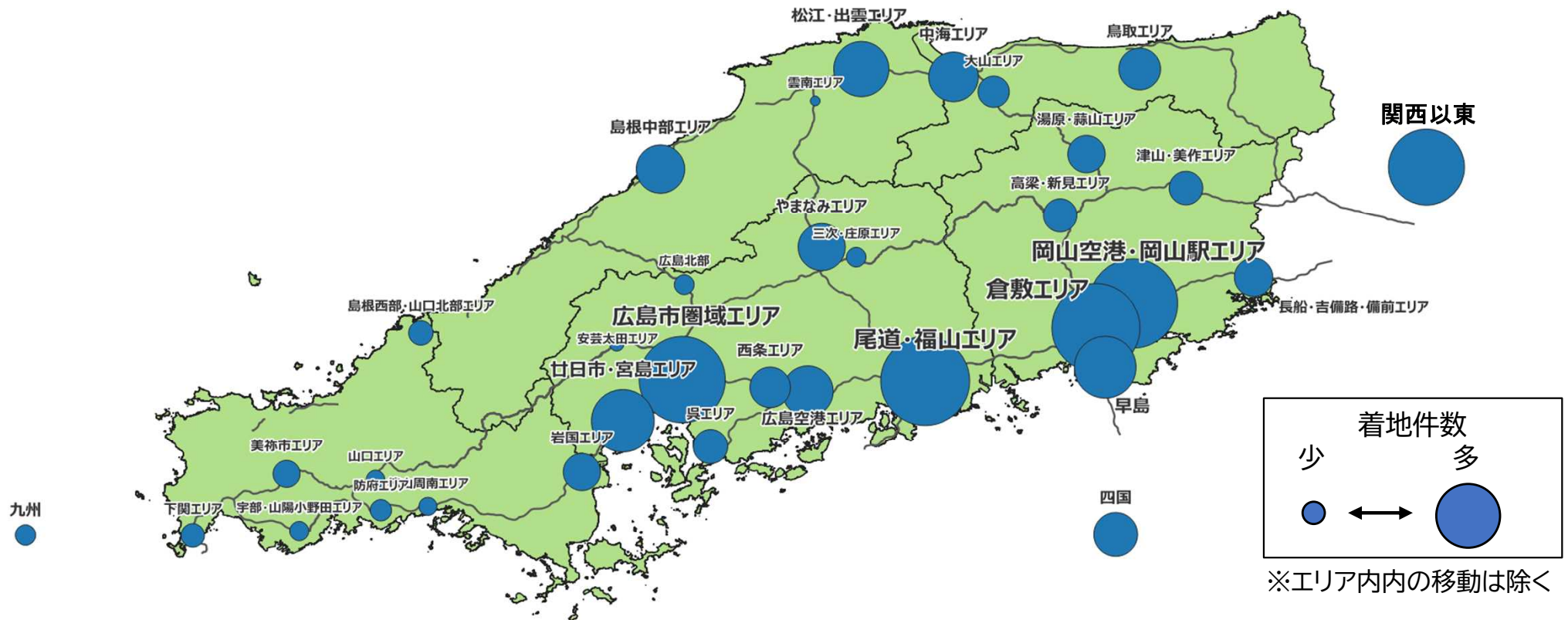
- レンタカー利用の促進は交通結節点で行うことが効果的
- 中国地方外での働きかけも重要(特に四国や関西からの周遊・流入を増やす)

着地(周遊地)

改めて集約したエリア毎に着地を見ると、

- 山陰と山陽を比較すると、山陰側の周遊件数が少ない傾向がみられる。
- 関西や四国、岡山を発地とする利用が多いため、中国地方東部の来訪が多くみられる。
(九州を発地とする利用が少ないため、山口県の周遊が少ない)

図表 着地(レンタカー乗り始めIC:出発地)

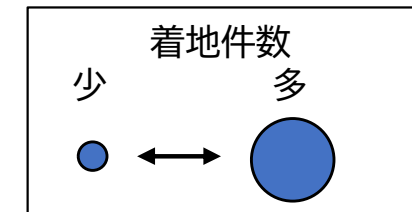
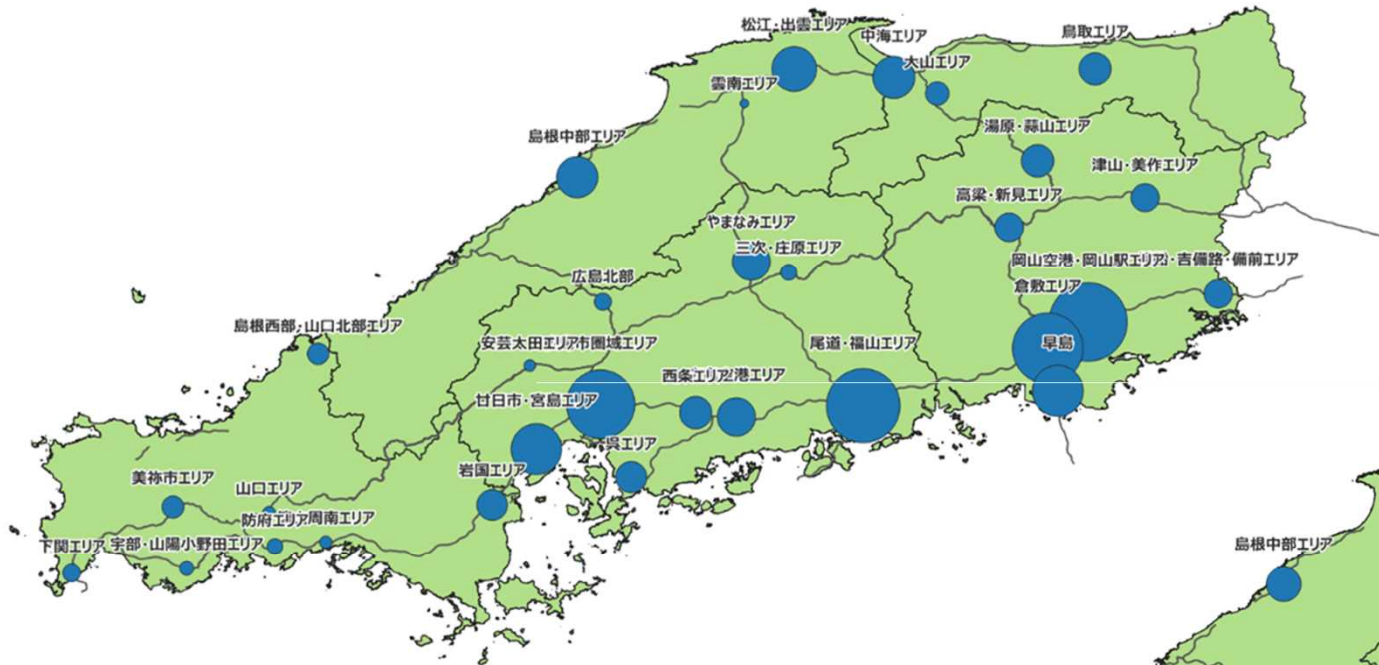


- 主要観光地から、来訪を促す取り組みが必要
- 山口県では広島の他に、九州へのアプローチも考えられる

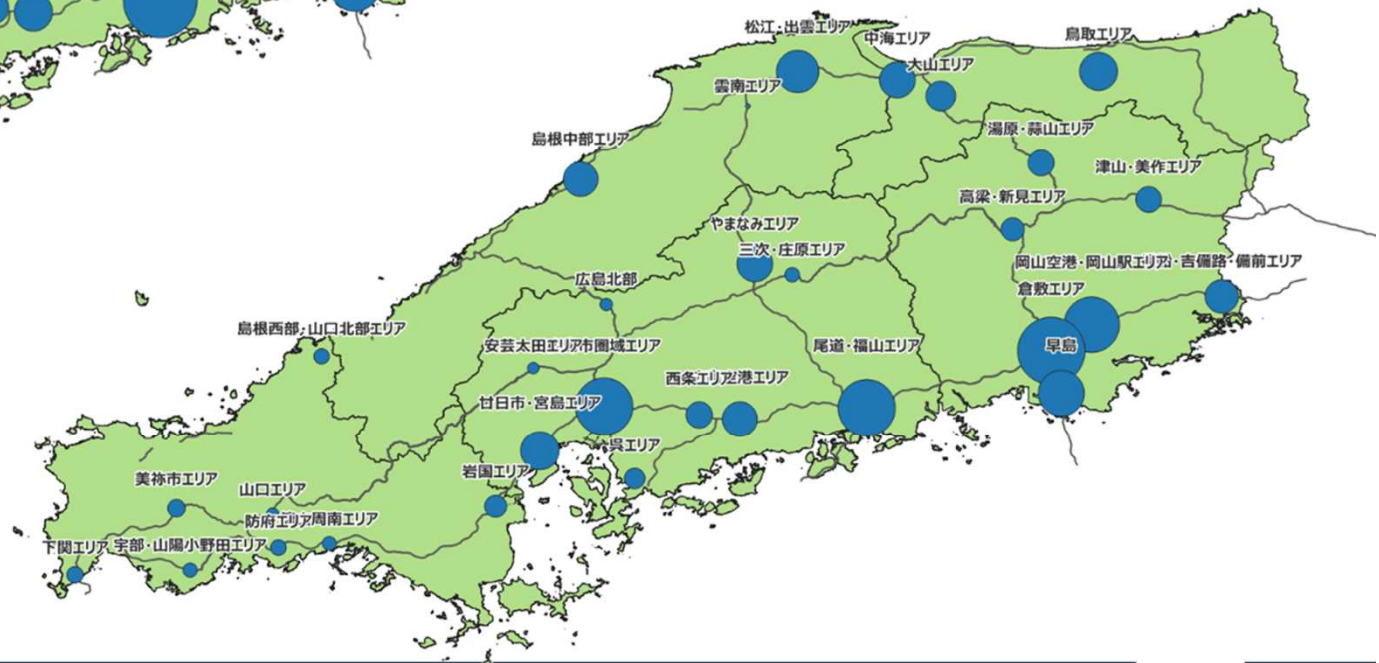
市場別着地傾向(台湾・香港)

- 台湾と香港からの訪日外国人は同様の傾向が見られる。他の市場からの観光客と比べ、あまり山陽・山陰の偏りなく、レンタカーでの来訪が行われている。
- しかし、台湾・香港とも山口県と中国道沿線エリアへの来訪が少ない傾向が見られる。

図表 台湾からの観光客



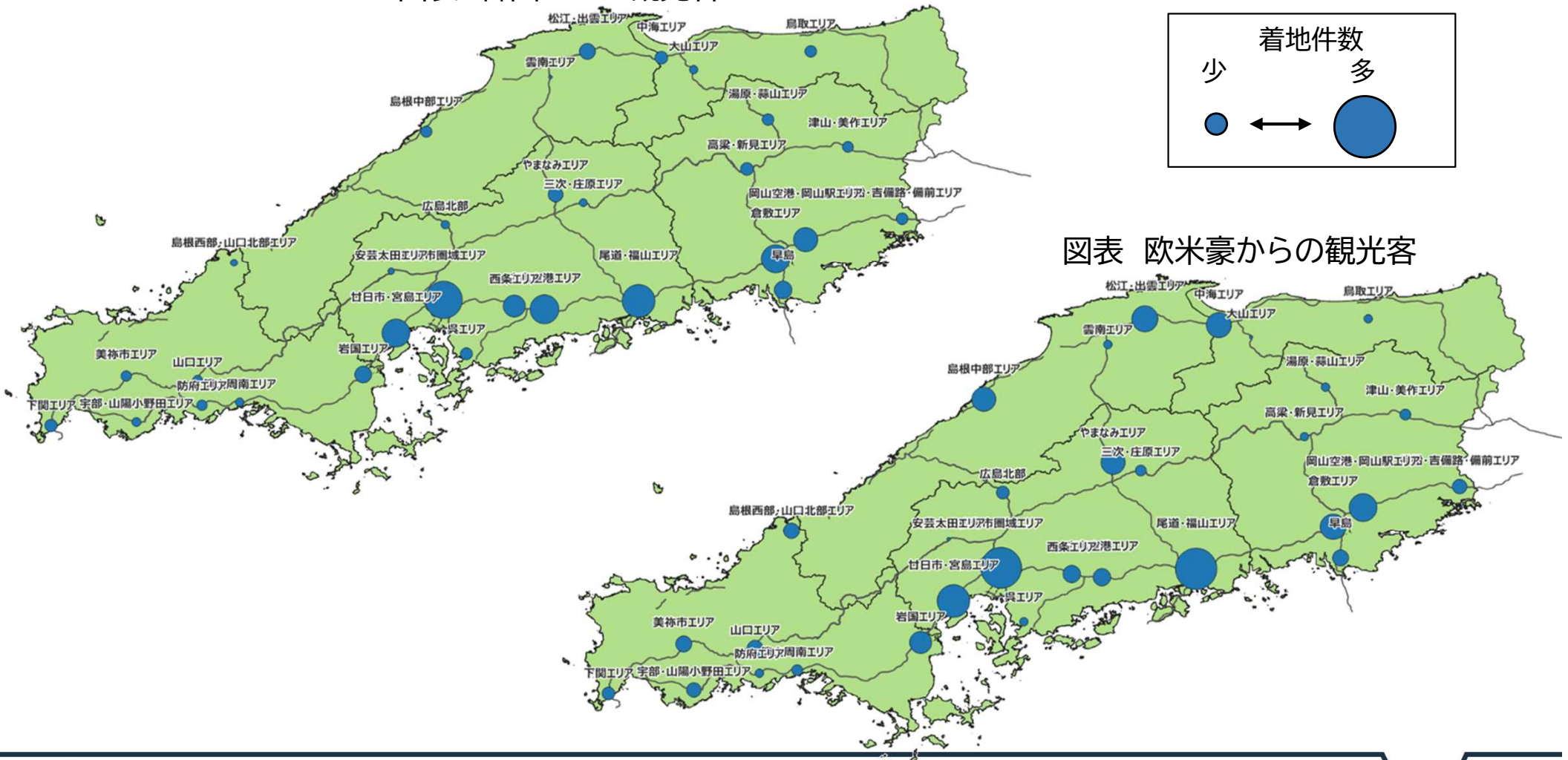
図表 香港からの観光客



市場別着地傾向(韓国・欧米豪)

- 韓国からの訪日外国人のレンタカーの来訪は、山陽側(岡山・広島)が非常に多く、山口県や山陰へのレンタカーでの来訪はほとんど見られない。
- 欧米豪からの訪日外国人は広島や廿日市・宮島エリアへの来訪が多く、そこからアクセスの良いやまなみエリアや松江エリアなどへの来訪も多い。

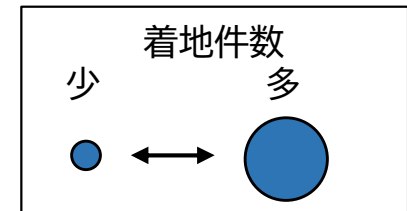
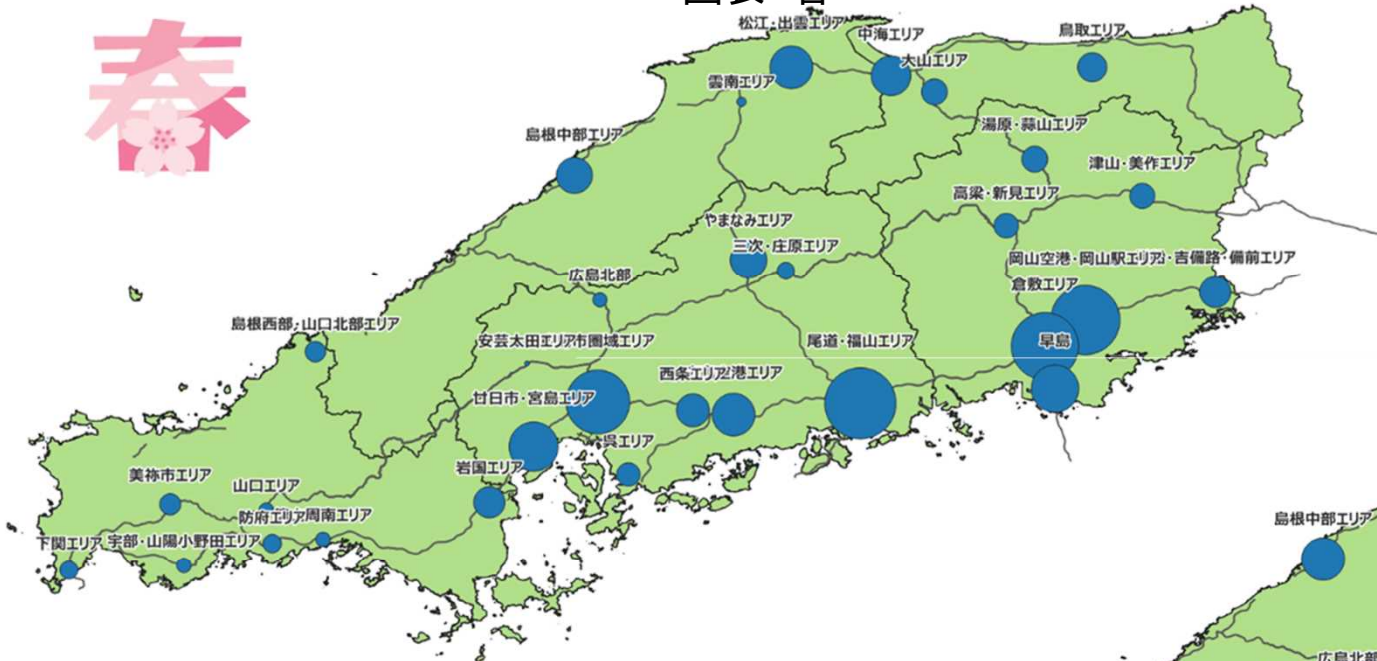
図表 韓国からの観光客



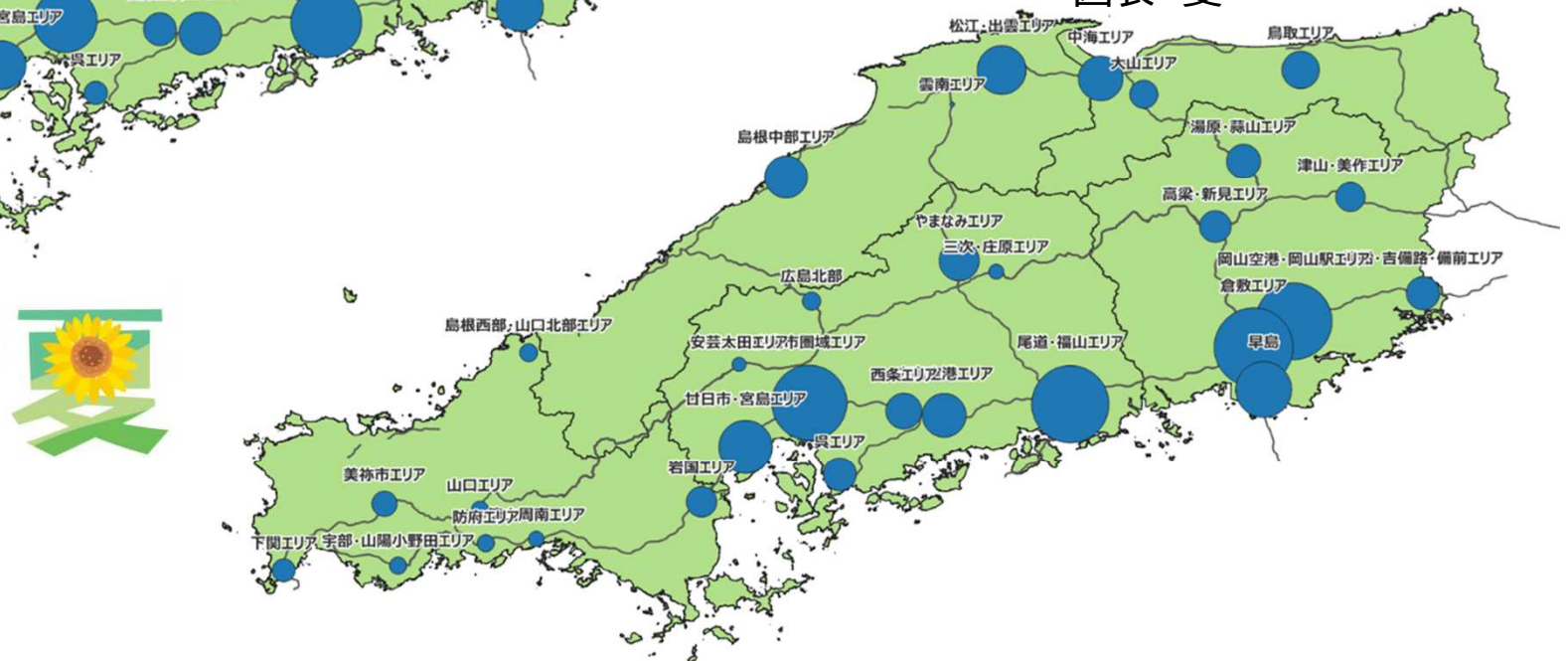
季節別着地傾向(春・夏)

- 訪日外国人観光客のレンタカー利用者は、春と特に夏に多い傾向がある。
- 夏は、瀬戸大橋や鷲羽山のある早島エリアの来訪が他の時期と比べ多い傾向がある。

図表 春



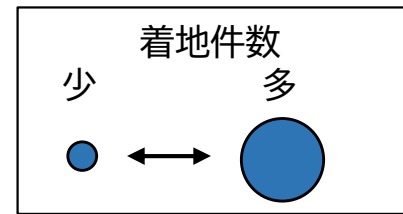
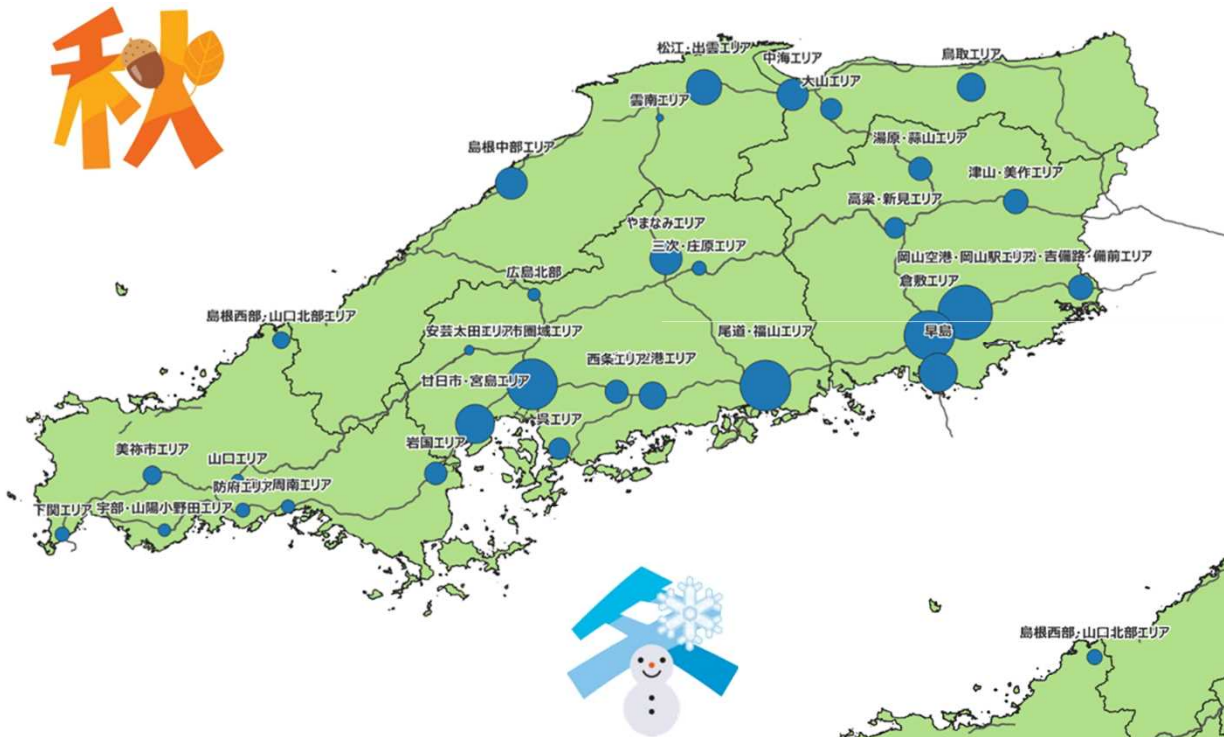
図表 夏



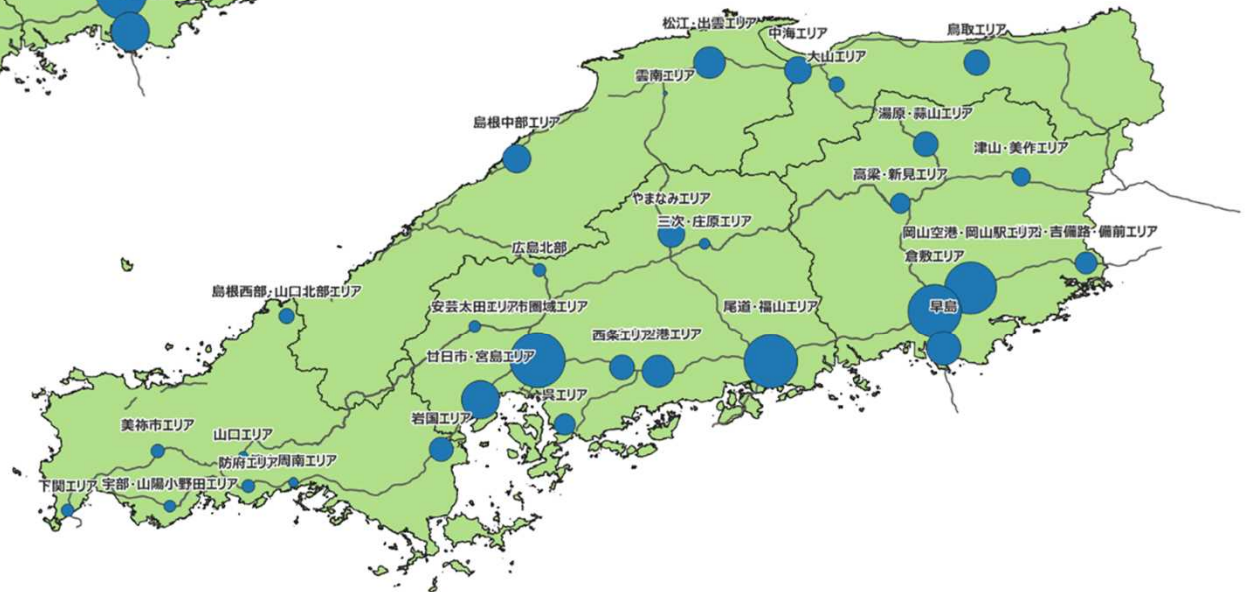
季節別着地傾向(秋・冬)

- ・ 訪日外国人観光客のレンタカー利用者は、秋と冬に少ない傾向がある。
- ・ 山陰は、雪などの影響により特に冬に来訪者が少なくなっている。
- ・ 一方で、スキー場や宿泊施設の多い湯原・蒜山エリアは、冬でもレンタカー利用者が比較的多い(冬季の減りが少ない)

図表 秋



図表 冬



発着地データより見えてきたもの

- 発着地の分析により、下記の傾向が見られる。

気づき

必要な方策

レンタカー利用者の発着地は交通結節点の他に、関西以西や四国からの利用者も多い。

中国地方外への情報発信等が重要

レンタカー利用者は山陰への来訪者も多い。

レンタカー利用者の促進は山陰の訪日観光客増につながる可能性

山口県への来訪が特に少ない※データの特性も影響

広島や地方外(特に九州)への情報発信等が必要

市場によって着地(来訪地)傾向が異なる
(台湾・香港:偏りなく、韓国:山陽、欧米:広島)

韓国・欧米豪の利用者の訪問地のが山陽に偏っているため、訪問エリアを広げる策が重要

季節により来訪傾向が異なる
(夏:海辺、冬:雪の影響、スキー需要)

季節を意識した振興策の検討が必要

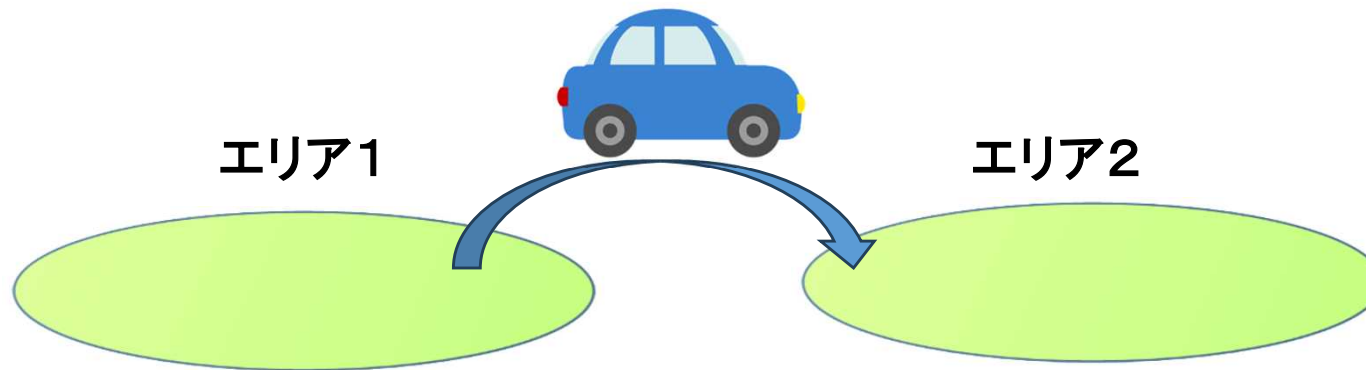
2. 周遊分析

訪日外国人観光客のレンタカー利用者の周遊パターンについて把握を行った。周遊パターンは国や県毎に行うなど、各属性による周遊行動の違いについて分析を行った。

周遊分析について

- 周遊分析は以下のような状況を集計し分析を行った。

前述の集約エリアから別の集約エリアに移動した場合、周遊と判定



ただし、同一エリア内の移動は、今回周遊とカウントせず



周遊パターン

周遊パターンを整理した結果、周遊パターンは1,703にも及んだ。(全サンプル3,101)
そのため、レンタカー利用者は自由度の高い周遊を行っていることが分かった。

図表 周遊パターン

順位	周遊パターン	件数	全体比率
1	四国 → 倉敷エリア → 四国	29	1.7%
2	四国 → 尾道・福山エリア → 倉敷エリア → 四国	18	1.1%
2	四国 → 尾道・福山エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	15	0.9%
4	岡山空港・岡山駅エリア → 早島 → 四国	13	0.8%
4	四国 → 岡山空港・岡山駅エリア	13	0.8%

※エリア内内の移動は除く

- レンタカー利用の促進は、多様な観光パターンの観光につながる可能性
(今までいかなかった場所への周遊、意外なエリア間の周遊につながる など)

一方で、多数ある周遊パターンから代表的なパターンの集計を行っても代表性が小さくなってしまう。(全体比率1.7%で人気の周遊パターンといえるのか)

周遊パターンの算出方法

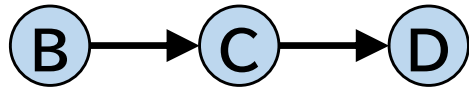
そのため、本分析では下記のイメージのように、別の周遊地を含む根幹の代表的な周遊パターンについて集計を行った。

図表 周遊パターンの考え方

例: B→C→Dの周遊パターンをカウントする場合

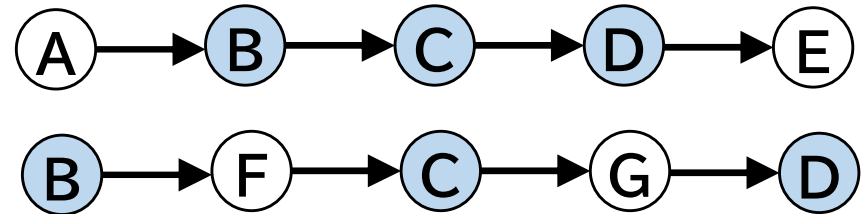
従来

連続するパターンのみカウント



今回

別の経由地を含むパターンもカウント



そのため、一般的な周遊パターンの整理と異なる点に留意。

周遊パターン

新たな集約方法での周遊パターンを見ると、岡山や四国を発地とする利用者が多いため、岡山エリア、倉敷エリア、尾道・福山エリア、四国の周遊が多い。上位の周遊は広島地域圏域エリアも含め、全て山陽となっている。

図表 周遊パターン

周遊パターン数	1,703	平均5.1エリアを周遊 ※エリア内内は除く
---------	-------	-----------------------

代表的な3地点の周遊パターン

順位	パターン	出現回数	全体比率
1	四国 → 倉敷エリア → 四国	274	9%
2	岡山空港・岡山駅エリア → 倉敷エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	236	8%
3	四国 → 尾道・福山エリア → 倉敷エリア	200	6%
4	岡山空港・岡山駅エリア → 尾道・福山エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	198	6%
5	四国 → 尾道・福山エリア → 四国	196	6%
6	四国 → 尾道・福山エリア → 広島市圏域エリア	177	6%
7	岡山空港・岡山駅エリア → 四国 → 岡山空港・岡山駅エリア	175	6%
8	広島市圏域エリア → 尾道・福山エリア → 四国	170	5%
9	四国 → 尾道・福山エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	170	5%
10	岡山空港・岡山駅エリア → 広島市圏域エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	168	5%

周遊パターン(各県)

各県を発着地とするおもな周遊パターンを見ると、広島は尾道・福山や岡山・四国への周遊が多い。これは宮島等の近隣周遊では電車等が用いられているためと考えられる。山口は広島や廿日市・宮島からの周遊が多い。(岡山は前述の通り)

●岡山県

全体順位	パターン	出現回数	全体比率
1	四国 → 倉敷エリア → 四国	274	9%
2	岡山空港・岡山駅エリア → 倉敷エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	236	8%
3	四国 → 尾道・福山エリア → 倉敷エリア	200	6%

●広島県

全体順位	パターン	出現回数	全体比率
4	岡山空港・岡山駅エリア → 尾道・福山エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	198	6%
5	四国 → 尾道・福山エリア → 四国	196	6%
6	四国 → 尾道・福山エリア → 広島市圏域エリア	177	6%

●山口県

全体順位	パターン	出現回数	全体比率
73	広島市圏域エリア → 廿日市・宮島エリア → 岩国エリア	89	3%
105	廿日市・宮島エリア → 岩国エリア → 広島市圏域エリア	81	3%
117	廿日市・宮島エリア → 岩国エリア → 廿日市・宮島エリア	78	3%

周遊パターン(各県)

鳥取と島根は、山陰間での周遊が多い。

また、山陰での周遊の他に広島市圏域や岡山空港・岡山駅への周遊も多い。

一方で、山陽で多くあった四国や尾道・福山、倉敷からの周遊は少なく、いかに山陽からの周遊を増やすかが重要といえる。

●鳥取県

全体順位	パターン	出現回数	全体比率
24	中海エリア → 松江・出雲エリア → 島根中部エリア	129	4%
84	中海エリア → 松江・出雲エリア → 広島市圏域エリア	86	3%
92	島根中部エリア → 松江・出雲エリア → 中海エリア	84	3%
93	鳥取エリア → 松江・出雲エリア → 島根中部エリア	84	3%
95	岡山空港・岡山駅エリア → 中海エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	83	3%

●島根県

全体順位	パターン	出現回数	全体比率
24	中海エリア → 松江・出雲エリア → 島根中部エリア	129	4%
53	岡山空港・岡山駅エリア → 松江・出雲エリア → 島根中部エリア	97	3%
74	松江・出雲エリア → 島根中部エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	89	3%
77	松江・出雲エリア → 島根中部エリア → 広島市圏域エリア	88	3%
81	松江・出雲エリア → 島根中部エリア → 松江・出雲エリア	87	3%

周遊パターン(台湾・香港)

市場別の周遊パターンを見ると、台湾と香港は同様の周遊がみられ、岡山空港・岡山駅、倉敷、尾道・福山、四国エリアの周遊が多い。

※データの特性も影響

●台湾

図表 周遊パターン

周遊パターン数	867	平均4.7エリアを周遊 ※エリア内内は除く
---------	-----	-----------------------

代表的な3地点の周遊パターン

順位	パターン	出現回数	全体比率
1	四国 → 倉敷エリア → 四国	129	8%
2	岡山空港・岡山駅エリア → 倉敷エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	110	7%
3	四国 → 尾道・福山エリア → 倉敷エリア	87	5%

●香港

周遊パターン数	632	平均5.6地点を周遊 ※エリア内内は除く
---------	-----	----------------------

代表的な3地点の周遊パターン

順位	パターン	出現回数	全体比率
1	四国 → 倉敷エリア → 四国	100	10%
2	岡山空港・岡山駅エリア → 倉敷エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	83	8%
3	四国 → 尾道・福山エリア → 倉敷エリア	76	8%

周遊パターン(韓国・欧米豪)

韓国は、広島市圏域、尾道・福山、四国と広島への周遊が多くなっている。
欧米豪は、幅広く周遊が行われている。

※データの特性も影響

●韓国

図表 周遊パターン

周遊パターン数	205	平均6.0エリアを周遊 ※エリア内内は除く
---------	-----	-----------------------

代表的な3地点の周遊パターン

順位	パターン	出現回数	全体比率
1	四国 → 尾道・福山エリア → 広島市圏域エリア	32	11%
2	四国 → 倉敷エリア → 四国	28	9%
3	四国 → 尾道・福山エリア → 四国	27	9%

●欧米豪

周遊パターン数	63	平均5.8地点を周遊 ※エリア内内は除く
---------	----	----------------------

代表的な3地点の周遊パターン

順位	パターン	出現回数	全体比率
1	四国 → 倉敷エリア → 四国	9	11%
2	岡山空港・岡山駅エリア → 倉敷エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	9	11%
3	広島市圏域エリア → 尾道・福山エリア → 四国	8	10%

周遊分析より見えてきたもの

- 周遊分析により、下記の傾向が見られる。

気づき

必要な方策

レンタカー利用者の周遊パターンが多く、自由度の高い観光がされている。

周遊が少ないエリアでも促進によっては、観光客増加の期待がある

四国との周遊が多い※データの特性も影響

中国地方だけではなく、他の地方での振興・連携が必要

市場や県により、周遊パターンが異なる

【台湾・香港】：岡山四国の周遊が多い 【韓国・欧米豪】広島を中心とした周遊が多い
【岡山県】四国・備後を含む周遊 【広島】備後・四国を含む周遊※近隣は電車
【山口県】広島を含む周遊 【鳥取・島根】山陰・岡山・広島を含む周遊が多い

周遊の多い国の言語の案内を増やしたり、好まれる観光パッケージを開発するなど、利用者の市場や対策を行うエリアの周遊状況を考慮した促進策の検討が必要

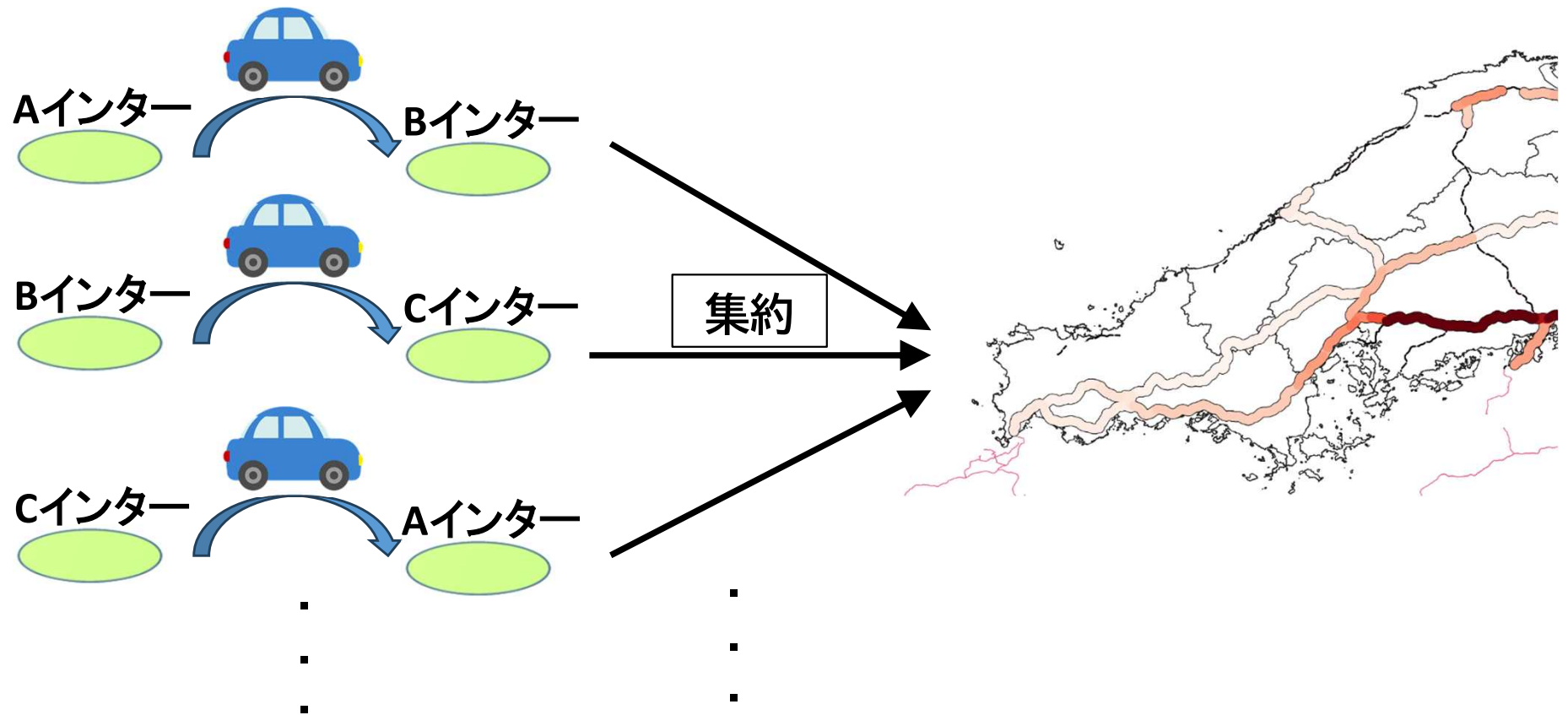
3. 走行経路分析

訪日外国人観光客のレンタカー利用者の走行経路を分析することにより、外国人レンタカー利用者の良く利用する路線やよく利用される経路にも関わらず通過されているエリアの把握を行った。

走行経路分析について

- 走行経路分析は以下のような状況を集計し分析を行った。

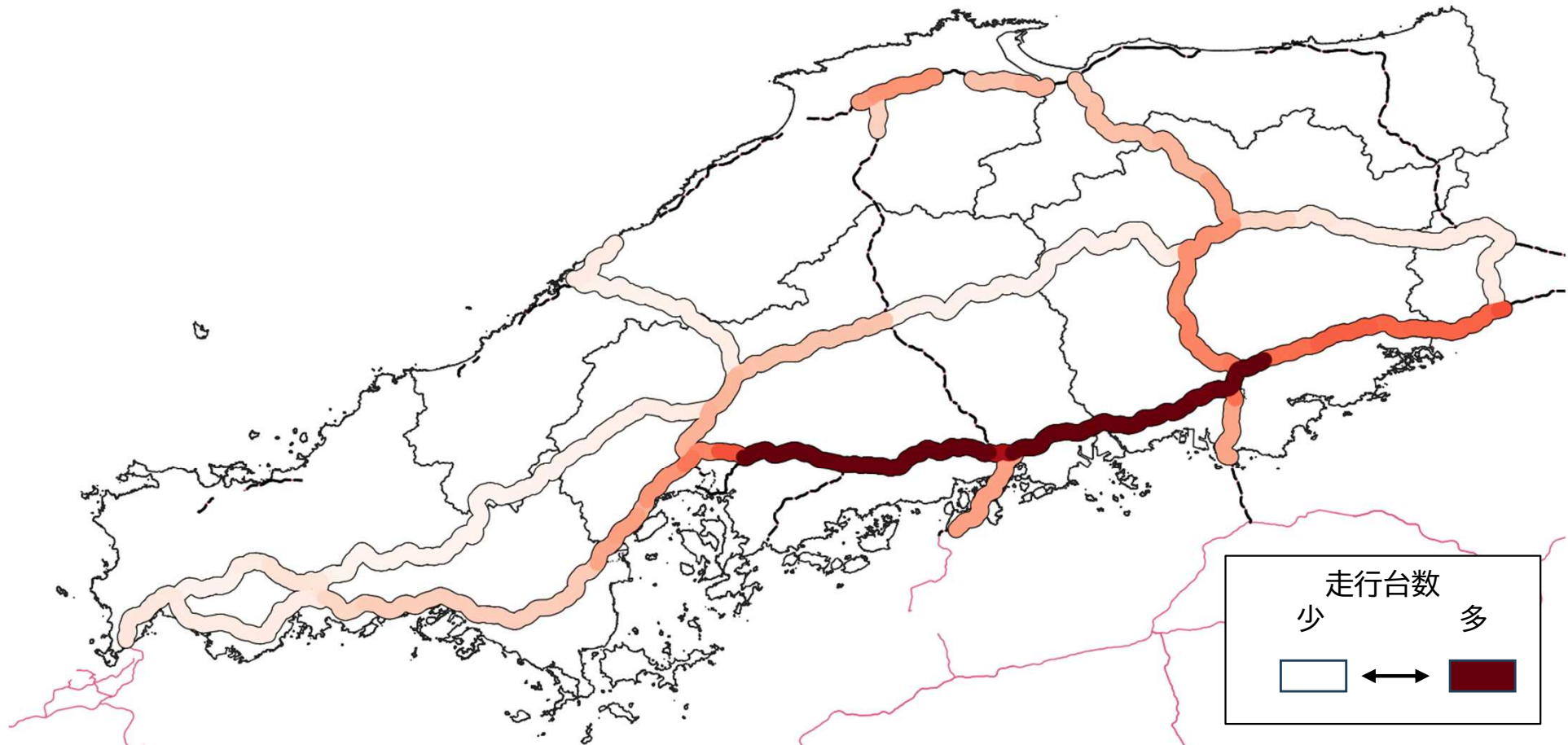
各IC間の移動(経路)を集約し、路線区間別走行台数を集計



走行経路

訪日外国人観光客のレンタカー利用者の高速道路走行経路を分析すると、山陽側の観光地や交通結節点を結ぶ山陽自動車道の利用が多いことがわかる。
また、山陰と山陽を結ぶ米子道と岡山道の利用も多いことがわかる。

図表 走行経路



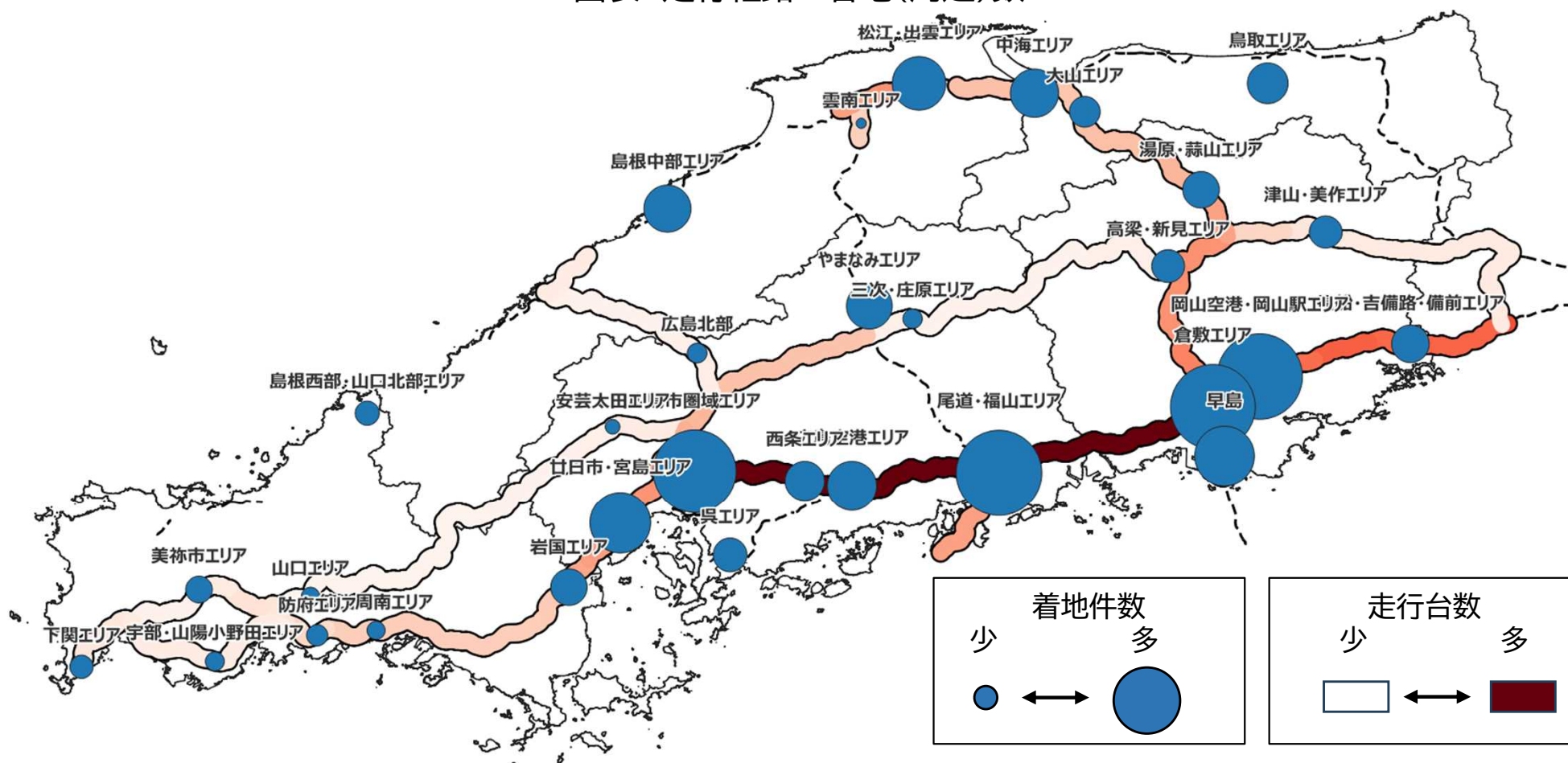
※走行経路は乗降ICの最短経路を基に分析を行った

走行経路

この走行経路と着地情報を重ねると、西条や高梁・新見エリアは、訪日外国人観光客の移動が多いにも関わらず、周遊が少ない(素通り)地域といえる。

山陰山陽間の移動の多くを米子道が担っており、松江尾道道や浜田道を利用した移動が少ない。それに伴い三次・庄原や広島北部などの周遊も少なくなっている。

図表 走行経路と着地(周遊)数



走行経路分析より見えてきたもの

- 走行経路分析により、下記の傾向が見られる。

気づき

必要な方策

走行経路は山陽に偏っている。
(周遊地以上に偏っている)

- ・山陽道を軸にした振興策の検討が必要(情報発信など)
- ・山陽道から北部、西部への移動を広げていくことが重要(沿線エリアへの観光流入が期待される)

山陽・山陰間の移動は米子道が多い

- ・浜田道や松江尾道道への移動を広げていくことが重要(沿線エリアへの観光流入が期待される)

素通りされている観光エリアがある
(西条や高梁・新見、吉備路・備前エリア)

- ・立ち寄り観光を促す取り組み・情報発信が必要

4. 滞在時間分析

訪日外国人観光客のレンタカー利用者の滞在時間の把握を行った。
また、エリア毎の日帰り観光と宿泊(日越し滞在)観光の傾向についても把握を行った。

滞在時間分析について

- 滞在時間分析は以下のような状況を集計し分析を行った。

同一IC間の降車時間と再乗車時間を基に滞在時間を集計

降車



3月1日10:00

再乗車



3月1日17:00

滞在時間: 7時間(日帰り)

なお、日を跨いだら宿泊と判定

3月1日10:00

3月2日12:00

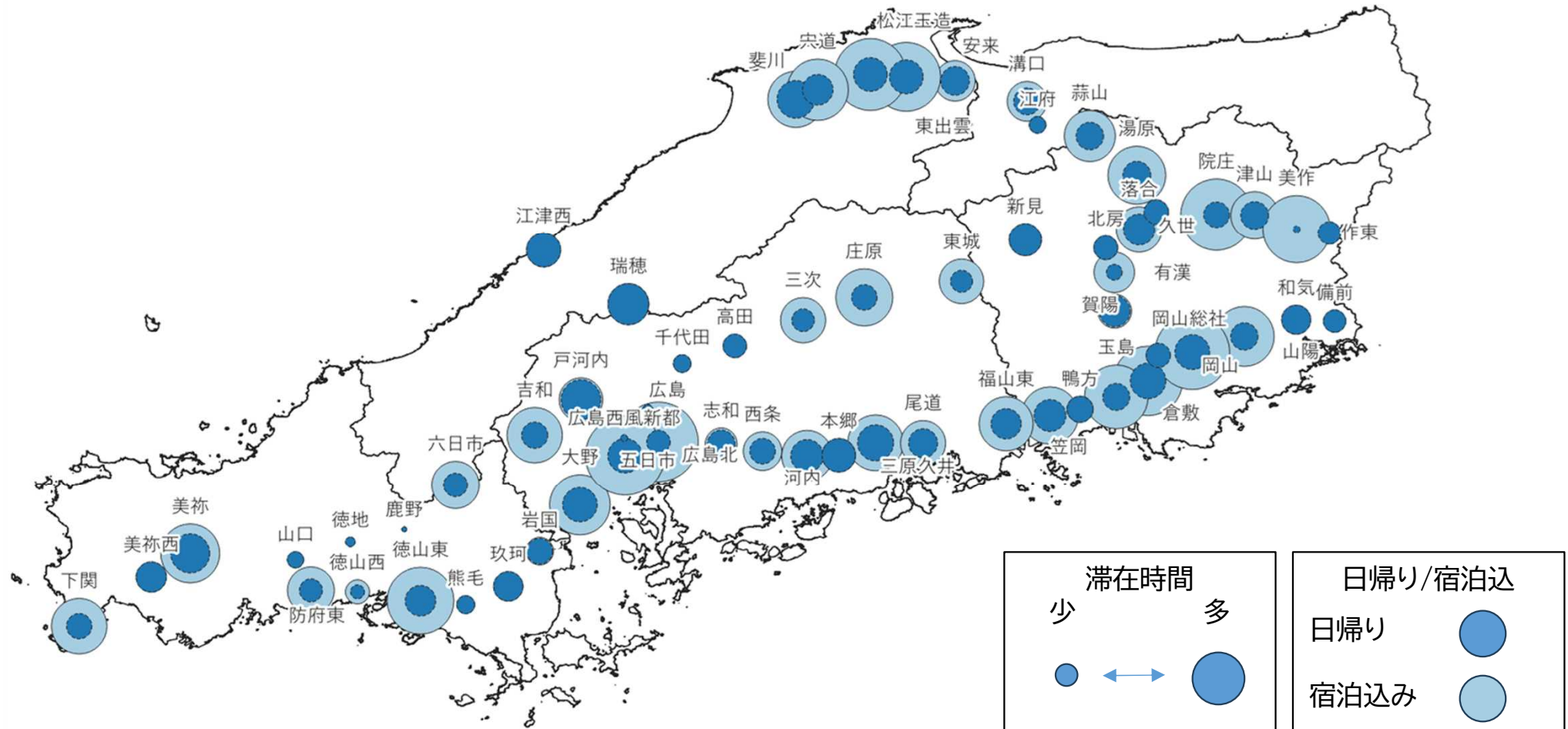
滞在時間: 26時間(宿泊込み)

※日帰りも含む

滞在時間

滞在時間は、周遊の拠点となる広島や岡山、宍道(松江)で長い傾向がある。
 しかし、宿泊を伴わない場合、それらの拠点の滞在時間も短い傾向がある。
松江玉造や美作などの温泉地に近いICの滞在時間が長い傾向がある。

図表 滞在時間



※移動時間の影響を除くためエリア単位ではなくIC単位で集計
 ※宿泊がない場合は日帰りと宿泊込みの滞在時間は同じになる

滞在時間分析より見えてきたもの

- 滞在時間分析により、下記の傾向が見られる。

気づき

必要な方策

エリア(IC)によって滞在時間の傾向が異なる。

【広島IC】宿泊込みの滞在時間は長い、日帰りは短い

【瑞穂IC】滞在時間は長い、宿泊がない(スキー日帰り)

【山口IC】日帰りも宿泊も滞在時間が短い

など

- 滞在時間の傾向とそのバックグラウンドを整理し、日帰り/宿泊込みなどターゲットを絞った対策が必要

5. エリア分析

国土交通省中国運輸局ではこれらのデータの地域活用を促すために、前述の全体分析の他に、エリアの特徴や状況を整理したカルテの作成を行った(エリア分析)。

広島空港エリア

対象IC
河内IC、本郷ICなど

エリアの特徴

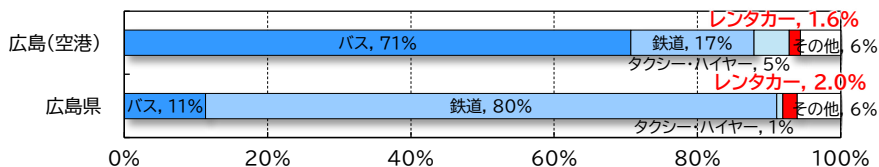
【エリア概要】

広島空港を有する広島県の空の玄関口となるエリア。広島空港は韓国、中国、台湾、タイ、ベトナム便が就航し、年間36万人の訪日客が利用する等、特に出発者が多いエリアである一方で、三景園などの観光地も有するエリア。

主な観光地	三景園、八天堂ビレッジ、フォレストヒルズ(ゴルフ場)
主な交通施設	広島空港

■地域でのレンタカーの利用状況

広島空港エリアを有する広島県の外国人観光客の利用交通分担率をみるとレンタカー利用者割合は2.0%、広島空港では1.6%と低い値となっている。

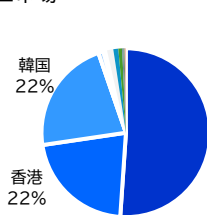


データ:国土交通省「FF-Data」

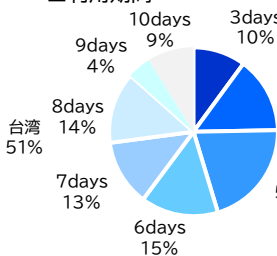
レンタカー利用者の傾向

空港エリアのレンタカー利用は、台湾・香港・韓国の旅行者が多く、4~6日の短期間利用の旅行者が多く訪れる傾向にある。時期としては春季や夏季の来訪者が多い傾向にある。

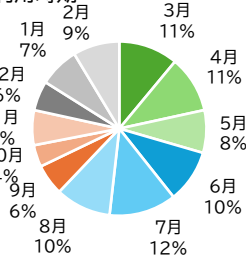
■市場



■利用期間



■利用時期



■主な出発

出発地	割合
岡山空港・岡山駅エリア	18%
広島市圏域エリア	9%
倉敷エリア	3%
廿日市・宮島エリア	2%
やまなみエリア	2%

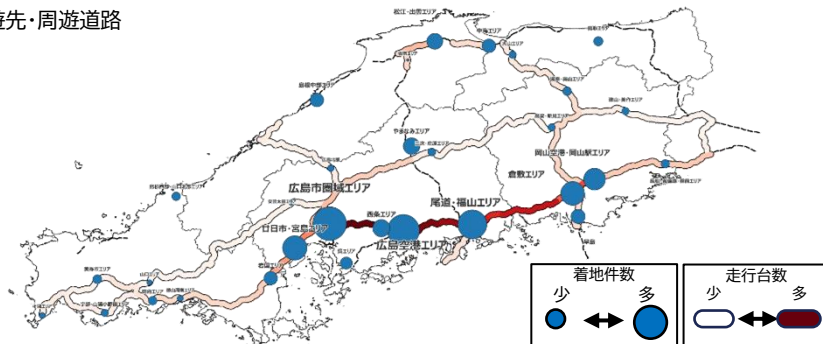
空港エリアへは、岡山空港・岡山エリアや四国からレンタカーを利用して訪れる人の割合が多い。
※広島空港エリア、中国地方外発は除く

データ:訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ

レンタカー利用者の周遊傾向

広島空港エリアを周遊するレンタカー利用者は、主に山陽道を利用して広島市圏域エリアや尾道・福山エリアなどを周遊している。一方で山陰や岩国以西への周遊は少なく傾向がある。周遊パターンも広島市圏域や廿日市・宮島エリア、尾道・福山エリアなど広島県内の周遊が多い。

■周遊先・周遊道路



■周遊パターン

全体順位	周遊パターン	全体割合
31	広島空港エリア → 広島市圏域エリア → 広島空港エリア	7%
71	廿日市・宮島エリア → 広島市圏域エリア → 広島空港エリア	5%
72	尾道・福山エリア → 広島市圏域エリア → 広島空港エリア	5%
82	広島空港エリア → 廿日市・宮島エリア → 広島市圏域エリア	5%
85	広島空港エリア → 広島市圏域エリア → 尾道・福山エリア	5%

データ:訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ ※別の周遊エリアも含む代表的な3箇所周遊パターン

レンタカー利用者の滞在傾向

■滞在時間

空港エリアの滞在時間は県内のなかで中程度である。また本郷ICはレンタカー利用者の宿泊がほとんどないエリアといえる。



IC名	滞在時間	滞在時間(宿泊除)
河内IC	7:03	2:51
本郷IC	3:02	3:02

データ:訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ

エリアの独自情報

■会社別レンタカー利用者の傾向(広島空港)

項目	トヨタレンタカー	タイムズレンタカー	ニッポンレンタカー	オリックスレンタカー
利用者	・家族連れ ・荷物多い	・ファミリー ・米軍関係者	・ベア ・ファミリー ・荷物多い	・2-3名 ・荷物多い ・車中泊
利用車種	・荷室が広い	・荷室が広い ・安い	・ワゴン車	・コンパクト ・大きな車両
訪問先	宮島、平和公園、錦帯橋、しまなみ	近畿方面もある	四国、関西、宮島	四国、山陰、宮島
最初の訪問先	自分たちが泊まる宿泊施設			
観光案内状況	・多言語パノ ・案内図や ・付録がある とよい	・多言語パノ ・レンタカー ・案内図や ・付録がある とよい	・多言語パノ ・案内図や ・付録がある とよい	・主要観光地 を案内 ・マップコード を調べて利用 者もいる

データ:中国運輸局「広島空港を起点とした広域周遊促進実証事業」R4年度



松江・出雲エリア

対象IC
松江玉造IC、宍道IC
出雲IC、斐川IC など

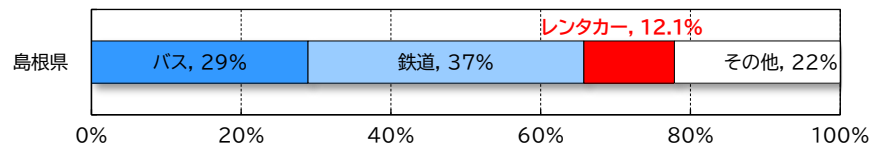
エリアの特徴

【エリア概要】
島根県の県庁所在地を有し、観光と交通の中心となるエリア。松江市の外国人宿泊客数は6万人と山陰有数であり、交通面では松江尾道道の起点であり、山陰と山陽の結ぶ玄関口となっている。中国地方有数の温泉地である玉造温泉と宍道湖温泉を有するエリアでもある。

主な観光地	松江城、出雲大社、玉造温泉、宍道湖温泉、足立美術館
主な交通施設	松江駅、出雲空港

■地域でのレンタカーの利用状況

松江・出雲エリアを有する島根県の外国人観光客の利用交通分担率をみるとレンタカー利用者割合は12.1%、となっている。

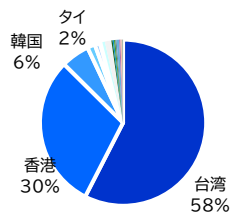


データ:国土交通省「FF-Data」

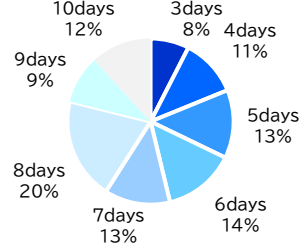
レンタカー利用者の傾向

松江・出雲エリアのレンタカー利用は、台湾・香港の旅行者が多く、5~7日の短期間利用の旅行者が多く訪れる傾向にある。時期としては夏季の来訪者が多い傾向にある。

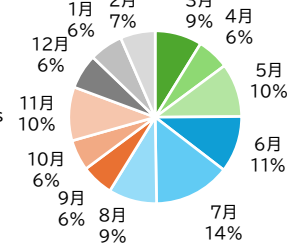
■市場



■利用期間



■利用時期



■主な出発

出発地	割合
岡山空港・岡山駅エリア	24%
広島空港エリア	7%
広島市圏域エリア	7%
倉敷エリア	6%
高梁・新見エリア	4%

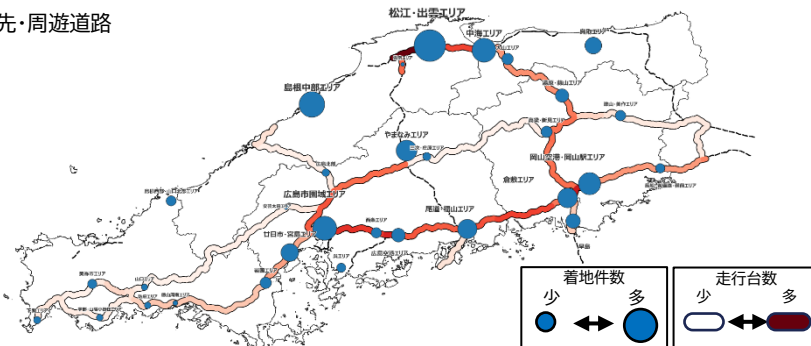
松江・出雲エリアへは、岡山空港・岡山エリアや広島空港・市圏域エリアと様々な方面からレンタカーを利用して訪れている。
※松江・出雲エリア、中国地方外発は除く

データ:訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ

レンタカー利用者の周遊傾向

松江・出雲エリアを周遊するレンタカー利用者は、主に山陰道を利用して中海エリアや島根中部エリアなどを周遊している。またやまなみエリアや広島市圏域、岡山空港・岡山駅エリアへの周遊も多い。松江・出雲エリアの丸が大きいのは同エリアが周遊の起点になっているためと考えられる。

■周遊先・周遊道路



■周遊パターン

全体順位	周遊パターン	全体割合
24	中海エリア → 松江・出雲エリア → 島根中部エリア	8%
53	岡山空港・岡山駅エリア → 松江・出雲エリア → 島根中部エリア	6%
74	松江・出雲エリア → 島根中部エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	5%
77	松江・出雲エリア → 島根中部エリア → 広島市圏域エリア	5%
81	松江・出雲エリア → 島根中部エリア → 松江・出雲エリア	5%

データ:訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ ※別の周遊エリアも含む代表的な3箇所周遊パターン

レンタカー利用者の滞在傾向

■滞在時間

松江・出雲エリアの滞在時間は、宿泊が多いため多い傾向にある。一方で宿泊を伴わない場合は他のエリアと比べ少ない傾向



IC名	滞在時間	滞在時間(宿泊除)
松江玉造IC	13:39	3:04
宍道IC	10:06	2:30

データ:訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ

エリアの独自情報

■山陰地域へのアンケートヒアリング

- 【宿泊施設】
- 訪日外国人宿泊者数は、増加傾向にある。しかし、レンタカー利用者は減少している。
 - 宿泊数は、レンタカー利用とそれ以外で差はない。
 - グループ人数も、レンタカー利用とそれ以外で差はないが、一部施設ではレンタカー利用の方が多い傾向がある。
 - 消費額などは、わからないとの回答が多くより詳しい調査が必要
- 【観光協会・DMO】
- レンタカー利用者は増加傾向にある
 - レンタカー利用者はリピーターが多い
 - レンタカーや消費額等の情報が少なく、より良い対策のために調査(情報)が必要

データ:中国運輸局、中国経済連合会

岡山空港・岡山駅エリア

対象IC
岡山IC、吉備SIC
岡山総社 など

エリアの特徴

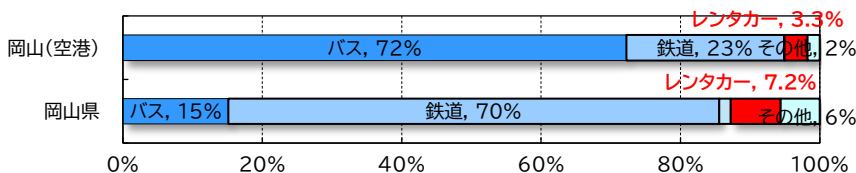
【エリア概要】

岡山県の県庁所在地を有し、中国地域有数の観光・交通拠点である。特に岡山駅は山陰・山陽・四国・関西の交通の結節点あり、岡山空港も韓国・中国・台湾便が就航し、年間22万人が国際線を利用している。観光においても岡山城や後楽園があり人気のエリアである。

主な観光地	岡山城、後楽園、鬼城山
主な交通施設	岡山駅、岡山空港

■地域でのレンタカーの利用状況

岡山空港・岡山駅エリアの外国人観光客の利用交通分担率をみるとレンタカー利用者割合は空港周辺で3.3%（岡山県では7.2%）となっている。

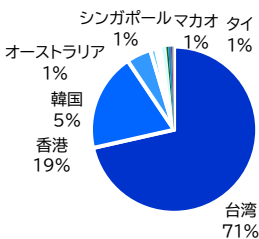


データ：国土交通省「FF-Data」

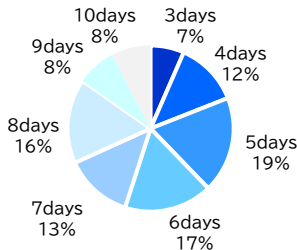
レンタカー利用者の傾向

岡山空港・岡山駅エリアのレンタカー利用は、台湾・香港の旅行者が多く、5～7日の短期間利用の旅行者が多く訪れる傾向にある。時期としては夏季の来訪者が多い傾向にある。

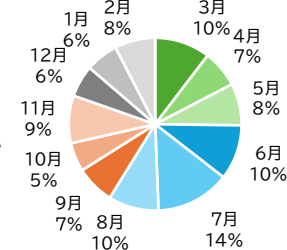
■市場



■利用期間



■利用時期



■主な出発

出発地	割合
広島空港エリア	5%
倉敷エリア	4%
広島市圏域エリア	3%
高梁・新見エリア	2%
早島	2%

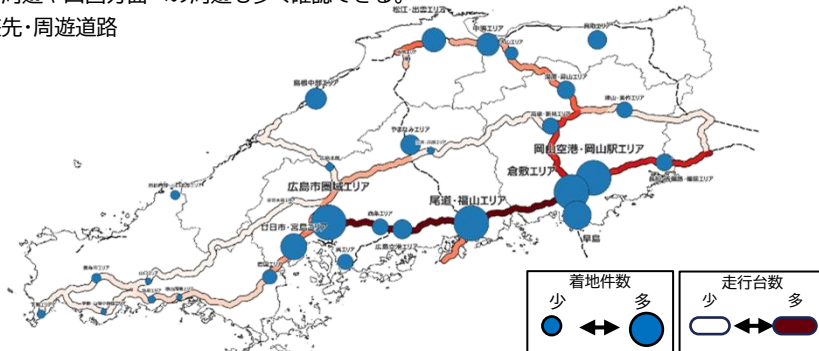
岡山空港・岡山駅エリアは、広島空港エリアや倉敷エリアから周遊者が多い傾向にある。また、四国から周遊も多いみられる(23%) ※岡山空港・岡山駅エリア、中国地方外発は除く

データ：訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ

レンタカー利用者の周遊傾向

岡山空港・岡山駅エリアを周遊するレンタカー利用者は、主に山陽道を利用して倉敷エリアや広島市圏域エリア、尾道・福山エリアなどを周遊している。また、岡山道と米子道を利用して山陰方面への周遊や四国方面への周遊も多く確認できる。

■周遊先・周遊道路



■周遊パターン

全体順位	周遊パターン	全体割合
2	岡山空港・岡山駅エリア → 倉敷エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	14%
4	岡山空港・岡山駅エリア → 尾道・福山エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	12%
7	岡山空港・岡山駅エリア → 四国 → 岡山空港・岡山駅エリア	10%
9	四国 → 尾道・福山エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	10%
10	岡山空港・岡山駅エリア → 広島市圏域エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	10%

データ：訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ ※別の周遊エリアも含む代表的な3箇所周遊パターン

レンタカー利用者の滞在傾向

■滞在時間

岡山空港・岡山駅エリアの滞在時間は、岡山県内の中では長い傾向にある。そのため周遊観光の拠点となっているといえる



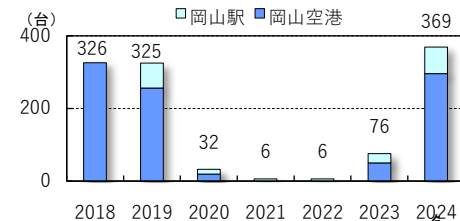
IC名	滞在時間	滞在時間(宿泊除)
岡山IC	14:44	3:16
岡山総社IC	1:30	1:30

データ：訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ

エリアの独自情報

■岡山空港、岡山駅地区のレンタカー貸渡件数

岡山空港、岡山駅地区のレンタカー貸渡件数はコロナの影響により減少したものの近年回復傾向にある。また両地区を比較すると岡山空港でレンタカーを借りる人が多い傾向にある



データ：(一社)岡山県レンタカー協会

岩国エリア

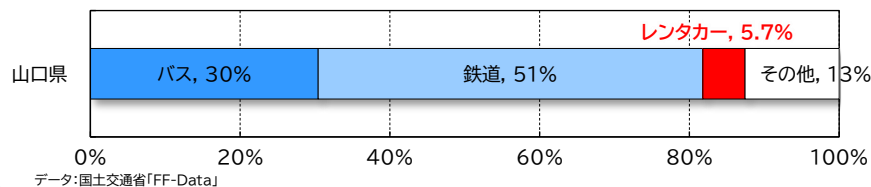
対象IC
岩国IC、玖珂IC

エリアの特徴

【エリア概要】
山口県の東部に位置し、錦帯橋や岩国錦帯橋空港を有する中国地域有数の観光・交通拠点である。岩国錦帯橋空港は国際便はないものの、羽田便と那覇便が就航しており、羽田便からの乗り継ぎでの来訪が考えられる。

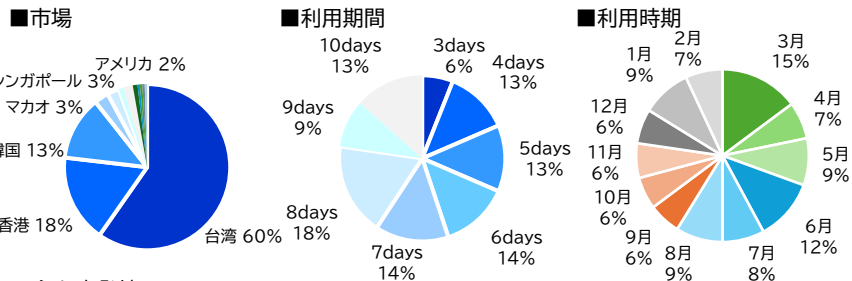
主な観光地	錦帯橋
主な交通施設	新岩国駅、岩国錦帯橋空港

■地域でのレンタカーの利用状況
岩国エリア(山口県)の外国人観光客の利用交通分担率をみるとレンタカー利用者割合は5.7%となっている。また、バス移動の割合が多いことが特徴である。



レンタカー利用者の傾向

岩国エリアのレンタカー利用は、台湾の旅行者が多く、8日の長期間利用の旅行者が多く訪れる傾向にある。時期としては夏季の来訪者が多い傾向にある。



■主な出発地

出発地	割合
岡山空港・岡山駅エリア	24%
広島空港エリア	17%
倉敷エリア	6%
廿日市・宮島エリア	6%
下関エリア	3%

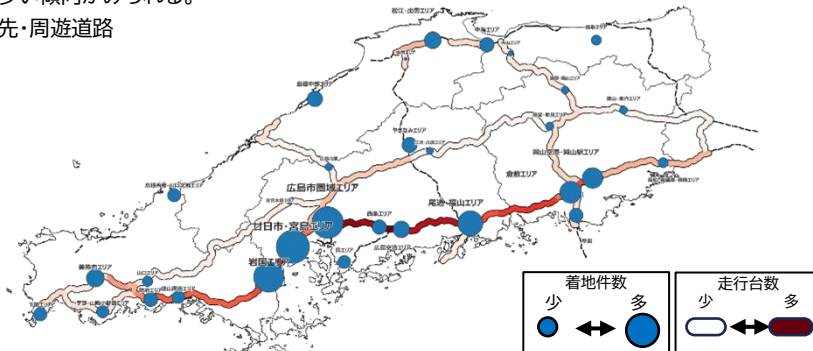
岩国エリアは、岡山空港・岡山駅エリアや広島空港エリアから周遊してくる人の割合が多い傾向にある。
※岩国エリア、中国地方外発は除く

データ:訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ

レンタカー利用者の周遊傾向

岩国エリアを周遊するレンタカー利用者は、主に山陽道を利用して廿日市・宮島エリアや広島市圏域などを周遊している。また、周遊パターンをみても山口県内よりも広島県の観光エリアへの周遊が多い傾向がみられる。

■周遊先・周遊道路



■周遊パターン

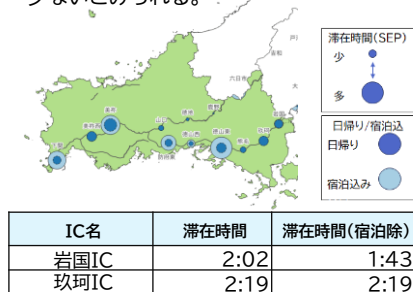
全体順位	周遊パターン	全体割合
73	広島市圏域エリア → 廿日市・宮島エリア → 岩国エリア	3%
105	廿日市・宮島エリア → 岩国エリア → 広島市圏域エリア	3%
117	廿日市・宮島エリア → 岩国エリア → 廿日市・宮島エリア	3%
122	岩国エリア → 廿日市・宮島エリア → 広島市圏域エリア	2%
185	尾道・福山エリア → 廿日市・宮島エリア → 岩国エリア	2%

データ:訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ ※別の周遊エリアも含む代表的な3箇所周遊パターン

レンタカー利用者の滞在傾向

■滞在時間

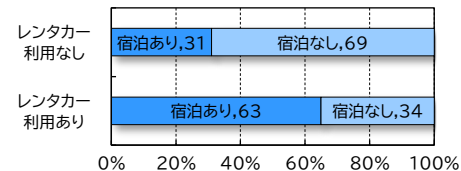
岩国エリアの滞在時間は、山口県内の中では短い傾向にある。また宿泊を含む滞在も少ないとみられる。



エリアの独自情報

■山口県のレンタカー利用有無別宿泊割合

山口県を訪れた訪日外国人のレンタカー利用有無別の宿泊割合をみると、レンタカー利用者の66%が県内で宿泊しているのに対し、利用しない人は31%しか宿泊しておらず、レンタカーの促進が県内への宿泊・滞在時間の延長につながるといえる。



データ:山口県外国人観光客動向調査(2019)

中海エリア

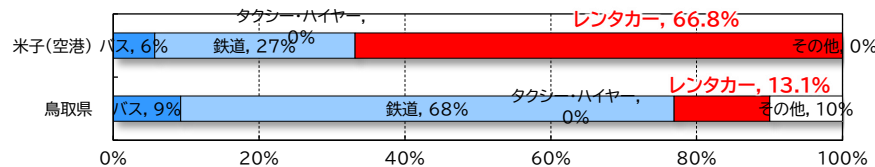
対象IC
米子西IC、松江東IC
安来IC など

エリアの特徴

【エリア概要】
鳥根県東部と鳥取県西部の中海沿岸のエリアをさす。山陰の玄関口である米子駅や山陰唯一の国際便が就航する米子空港を有する山陰の交通拠点である。観光面においても米子城と境港、皆生温泉を有する山陰を代表する観光エリアである。

主な観光地	米子城、境港、皆生温泉
主な交通施設	米子駅、米子鬼太郎空港

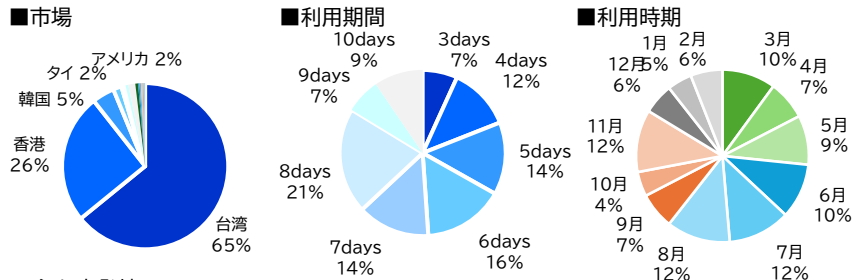
■地域でのレンタカーの利用状況
鳥取県は外国人観光客のレンタカー利用者割合が13.1%と中国地方でも高い県となっている。特に米子空港の利用割合は66.8%と極めて多いことが特徴である。



データ:国土交通省「FF-Data」

レンタカー利用者の傾向

中海エリアのレンタカー利用は、台湾の旅行者が多く、8日の長期間利用の旅行者が多く訪れる傾向にある。時期としては夏季の来訪者が多い傾向にある。



■主な出発地

出発地	割合
岡山空港・岡山駅エリア	30%
倉敷エリア	7%
広島空港エリア	7%
広島市圏域エリア	5%
高梁・新見エリア	5%

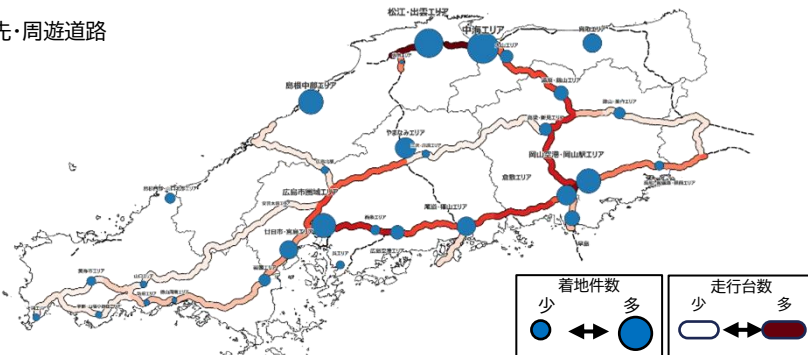
中海エリアは、岡山空港・岡山駅エリアや広島空港エリアなどの山陽の交通結節点から周遊してくる人の割合が多い傾向にある。※中海エリア、中国地方外発は除く

データ:訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ

レンタカー利用者の周遊傾向

中海エリアを周遊するレンタカー利用者は、主に山陰道を利用して松江・出雲エリアや鳥根中部エリアなどを周遊している。また、米子道や尾道松江道を利用した山陽への周遊もみられる。

■周遊先・周遊道路



■周遊パターン

全体順位	周遊パターン	全体割合
24	中海エリア → 松江・出雲エリア → 鳥根中部エリア	4%
84	中海エリア → 松江・出雲エリア → 広島市圏域エリア	3%
92	鳥根中部エリア → 松江・出雲エリア → 中海エリア	3%
95	岡山空港・岡山駅エリア → 中海エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	3%
103	鳥根中部エリア → 中海エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	3%

データ:訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ ※別の周遊エリアも含む代表的な3箇所周遊パターン

レンタカー利用者の滞在傾向

■滞在時間

※中海エリアはICから主要な観光地である境港までの距離が遠く、且つ山陰道の無料区間の接続エリアのため滞在時間は参考値(例:倉吉までの往復移動等が含まれる場合ある)

中海エリアの滞在時間は中国地方の中でも長い傾向にある。これは宿泊施設も多い中海エリアが山陰の観光の起点となっているためと考えられる

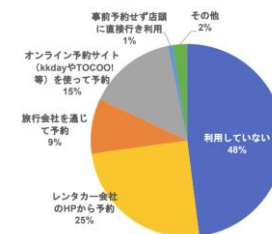
IC名	滞在時間	滞在時間(宿泊除)
米子西IC	19:46	5:19
安来IC	4:28	2:11

データ:訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ

エリアの独自情報

■米子空港利用者のレンタカー利用状況 (タイガーエア台湾便利利用者)

米子空港台湾便利利用者の半数以上がレンタカーを利用している。またレンタカーの申し込みは各社のHPから行われることが多い傾向がある。



データ:山陰インバウンド機構調査(2026年)

倉敷エリア

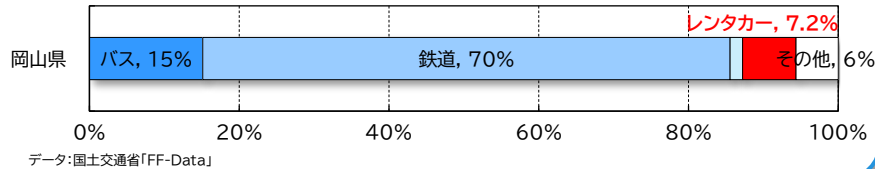
対象IC
倉敷IC、玉島IC
笠岡IC など

エリアの特徴

【エリア概要】
倉敷美観地区等の中国地方有数の観光地を有するエリア。倉敷エリア内に大きな交通結節点は少ないが岡山空港・岡山駅エリアに隣接し、且つ四国とをつなぐ瀬戸大橋にも近く、双方の交通アクセスが良く様々な地域からの周遊が期待されるエリアである。

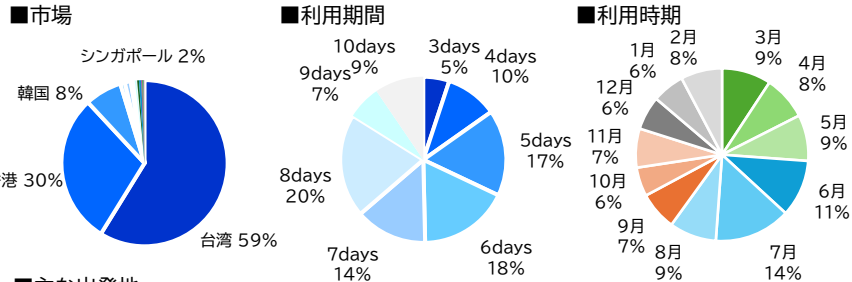
主な観光地	倉敷美観地区、大原美術館
主な交通施設	新倉敷駅

■地域でのレンタカーの利用状況
倉敷エリア(岡山県)の外国人観光客の利用交通分担率をみるとレンタカー利用者割合は7.2%となっている。また、鉄道移動の割合が多いことが特徴である。



レンタカー利用者の傾向

倉敷エリアのレンタカー利用は、台湾の旅行者が多く、8日の長期間利用の旅行者が多く訪れる傾向にある。時期としては夏季の来訪者が多い傾向にある。



■主な出発地

出発地	割合
岡山空港・岡山駅エリア	24%
倉敷エリア	10%
広島空港エリア	7%
広島市圏域エリア	3%
早島	2%

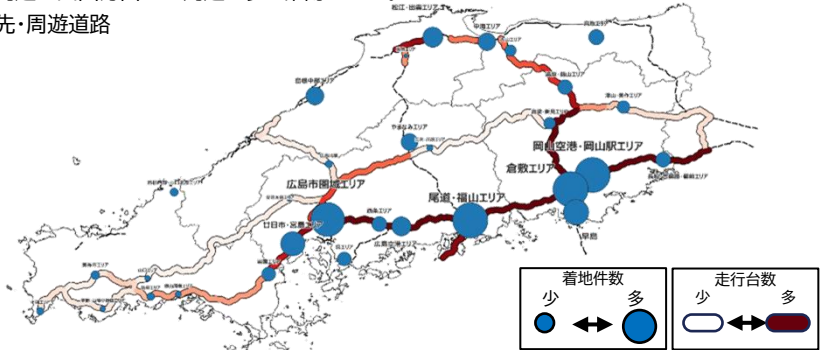
倉敷エリアは、岡山空港・岡山駅エリアや広島空港エリアから周遊してくる人の割合が多い傾向にある。四国から周遊も多いみられる(31%)
※倉敷エリア、中国地方外発は除く

データ:訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ

レンタカー利用者の周遊傾向

倉敷エリアを周遊するレンタカー利用者は、主に山陽道を利用して岡山空港・岡山駅エリアや広島市圏域エリア、尾道・福山エリアなどを周遊している。また、岡山道と米子道を利用して山陰方面への周遊や四国方面への周遊も多く確認できる。

■周遊先・周遊道路



■周遊パターン

全体順位	周遊パターン	全体割合
1	四国 → 倉敷エリア → 四国	9%
2	岡山空港・岡山駅エリア → 倉敷エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	8%
3	四国 → 尾道・福山エリア → 倉敷エリア	6%
11	四国 → 倉敷エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	5%
12	尾道・福山エリア → 倉敷エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	5%

データ:訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ ※別の周遊エリアも含む代表的な3箇所周遊パターン

レンタカー利用者の滞在傾向

■滞在時間

倉敷エリアの滞在時間は、岡山県内の中で長い傾向にある。一方で玉島などは宿泊を除いた場合の滞在時間は極めて短くなる。



IC名	滞在時間	滞在時間(宿泊除)
倉敷IC	12:47	3:25
玉島IC	10:53	1:54

データ:訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ

エリアの独自情報

■公共交通の課題

サンプル数は少ないが公共交通ではなくレンタカーを利用する理由は「本数が少ない」「乗り継ぎが不便」「運行時間が短い」となっている。

	本数が少ない	乗り継ぎが不便	運行時間が短い	その他
本数(回/2)	22.8	20.7	18.5	17.4
乗継回数(回/2)	0.0	0.0	0.0	0.0
運行時間(分/2)	24.3	22.9	18.4	17.1
乗継回数(回/2)	31.3	0.0	23.1	0.0
運行時間(分/2)	100.0	0.0	0.0	0.0
乗継回数(回/2)	39.1	13.0	4.3	34.8
運行時間(分/2)	0.0	0.0	0.0	0.0
乗継回数(回/2)	50.0	16.7	16.7	50.0
運行時間(分/2)	100.0	0.0	0.0	0.0
乗継回数(回/2)	0.0	0.0	0.0	0.0
運行時間(分/2)	17.3	20.7	20.7	27.6
乗継回数(回/2)	0.0	0.0	0.0	0.0
運行時間(分/2)	26.2	23.0	18.0	16.4
乗継回数(回/2)	30.0	40.0	18.0	0.0

データ:岡山県外国人観光客交通動態調査(2017)

尾道・福山エリア

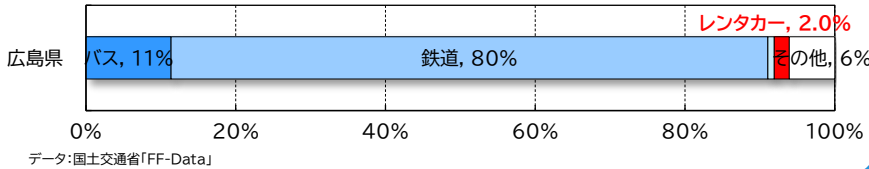
対象IC
尾道IC、福山西IC
福山東IC など

エリアの特徴

【エリア概要】
広島県の西の観光地であり、新幹線(のぞみ)が停まる福山駅や広島側の四国の玄関口であるしまなみ海道を有するなど、観光と交通に優れたエリア。しまなみ海道のサイクリングなどアクティビティツーリズムが盛んなエリア。

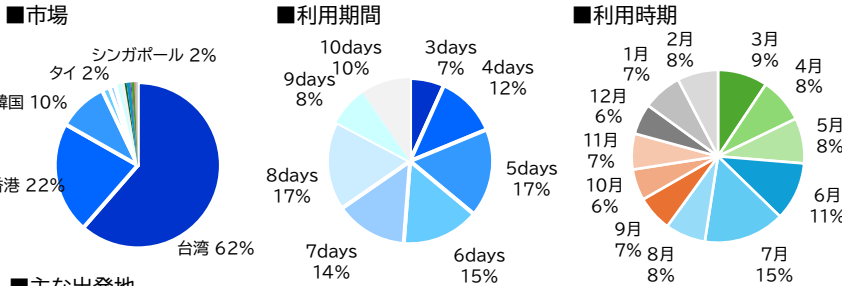
主な観光地	鞆の浦、しまなみ海道、千光寺
主な交通施設	福山駅、新尾道駅、しまなみ海道

■地域でのレンタカーの利用状況
尾道・福山エリア(広島県)の外国人観光客の利用交通分担率をみるとレンタカー利用者割合は2.0%となっており、中国地方の中でもレンタカー利用が少ない地域となっている。



レンタカー利用者の傾向

尾道・福山エリアのレンタカー利用は、台湾の旅行者が多く、また他のエリアと比べ欧米からの旅行者も多い。利用期間は5と8日が多く。時期としては夏季の来訪者が多い傾向にある。



■主な出発地

出発地	割合
岡山空港・岡山駅エリア	24%
広島空港エリア	10%
広島市圏域エリア	6%
倉敷エリア	6%
高梁・新見エリア	2%

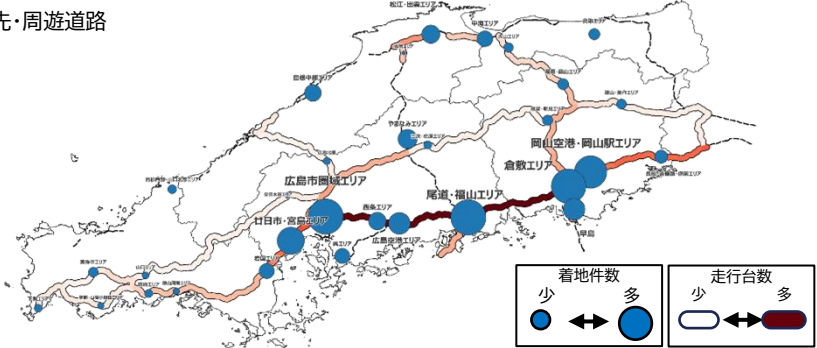
尾道・福山エリアは、岡山空港・岡山駅エリアや広島空港エリアから周遊してくる人の割合が多い傾向にある。四国から周遊も多いみられる(28%)
※尾道・福山エリア、中国地方外発は除く

データ:訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ

レンタカー利用者の周遊傾向

尾道・福山エリアを周遊するレンタカー利用者は、主に山陽道を利用して岡山空港・岡山駅エリアや広島市圏域エリアなどを周遊している。また、しまなみ海道等を走行し四国方面への周遊も多く確認できる。

■周遊先・周遊道路



■周遊パターン

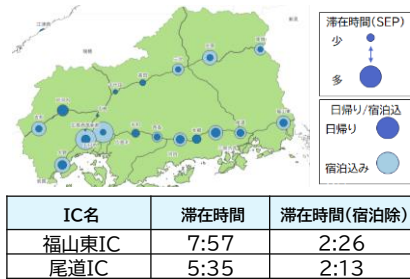
全体順位	周遊パターン	全体割合
3	四国 → 尾道・福山エリア → 倉敷エリア	6%
4	岡山空港・岡山駅エリア → 尾道・福山エリア → 岡山空港・岡山駅エリア	6%
5	四国 → 尾道・福山エリア → 四国	6%
6	四国 → 尾道・福山エリア → 広島市圏域エリア	6%
8	広島市圏域エリア → 尾道・福山エリア → 四国	5%

データ:訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ ※別の周遊エリアも含む代表的な3箇所周遊パターン

レンタカー利用者の滞在傾向

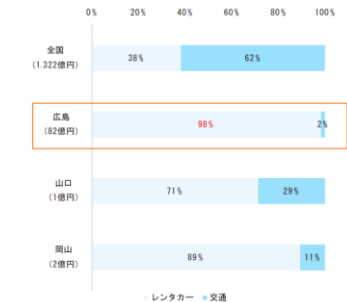
■滞在時間

尾道・福山エリアは来訪者数が多いものの、滞在時間は広島県内でも宿泊込/宿泊除ともに短い傾向がみられる。



エリアの独自情報

■訪日外国人の交通消費額(クレジットカード)
広島県における訪日外国人の移動への支出は82億円であり、その98%がレンタカーとなっている。



下関エリア

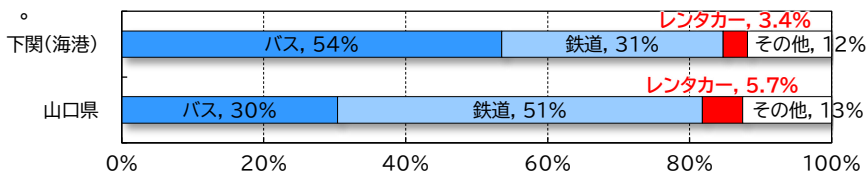
対象IC
下関IC、小月IC

エリアの特徴

【エリア概要】
山口県の最大都市であり、本州と九州を結ぶ関門橋・トンネルが位置する交通結節点。赤間神宮や海響館、角島大橋などの観光地を有し、ふぐなどの名産品も多い、観光と交通ともに優れたエリア。

主な観光地	赤間神宮、海響館、角島大橋
主な交通施設	関門橋・トンネル、下関駅

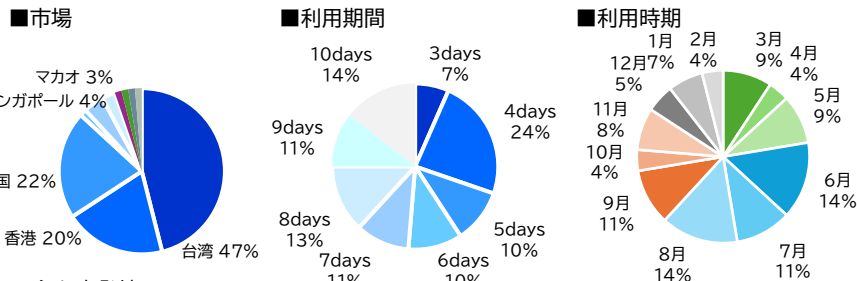
■地域でのレンタカーの利用状況
山口県は外国人観光客のレンタカー利用者割合が5.7%と中国地方でも低い県となっている。特に下関港の利用割合は3.4%と更に低く、バス利用が多いのが特徴である。



データ：国土交通省「FF-Data」

レンタカー利用者の傾向

下関エリアのレンタカー利用は、台湾の旅行者が多く、また他のエリアと比べシンガポール等からの旅行者の割合も多い。利用期間は4日と短期が多く。夏季の来訪者が多い傾向にある。



■主な出発地

出発地	割合
岡山空港・岡山駅エリア	11%
広島空港エリア	7%
倉敷エリア	5%
美祢市エリア	5%
広島市圏域エリア	4%

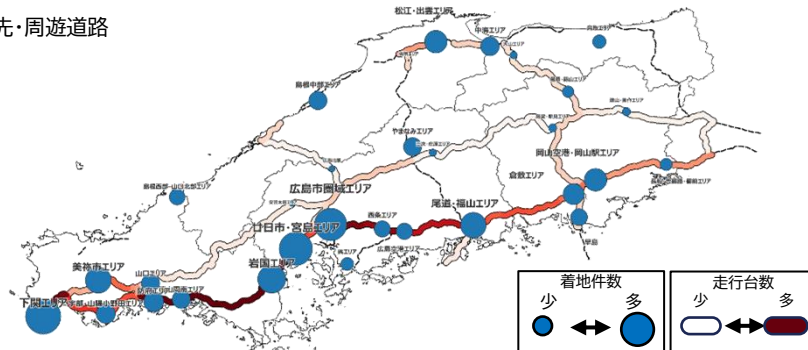
下関エリアは、岡山空港・岡山駅エリアや広島空港エリアから周遊してくる人の割合が多い傾向にある。九州から周遊も多いみられる(11%)
※下関エリア、中国地方外発は除く

データ：訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ

レンタカー利用者の周遊傾向

下関エリアを周遊するレンタカー利用者は、主に山陽道を利用して山口エリアや廿日市・宮島エリアなどを周遊している。また、関西以東方面への周遊も多く確認できる。

■周遊先・周遊道路



■周遊パターン

全体順位	周遊パターン	全体割合
1259	広島市圏域エリア → 廿日市・宮島エリア → 下関エリア	0.6%
1433	廿日市・宮島エリア → 岩国エリア → 下関エリア	0.6%
1512	下関エリア → 廿日市・宮島エリア → 広島市圏域エリア	0.6%
1892	関西以東 → 下関エリア → 関西以東	0.5%
1942	広島市圏域エリア → 岩国エリア → 下関エリア	0.5%

データ：訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ ※別の周遊エリアも含む代表的な3箇所周遊パターン

レンタカー利用者の滞在傾向

■滞在時間

下関エリアは山口県内の中で長い傾向にある。一方で宿泊を除いた場合の滞在時間は1時間半と短い傾向にある。

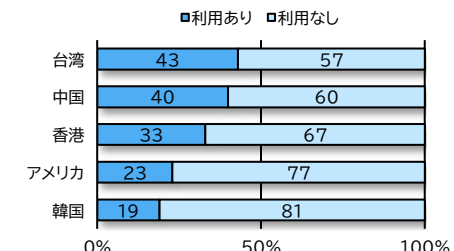


データ：訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ

エリアの独自情報

■訪日外国人のレンタカー利用率

訪日外国人の出国地によってレンタカーの利用比率が異なる。特に台湾からの旅行者のレンタカー利用が多い傾向にある。



データ：山陽地域のインパウンド動向調査(2019)



山口エリア

対象IC
山口IC、山口南IC
湯田温泉SAICなど

エリアの特徴

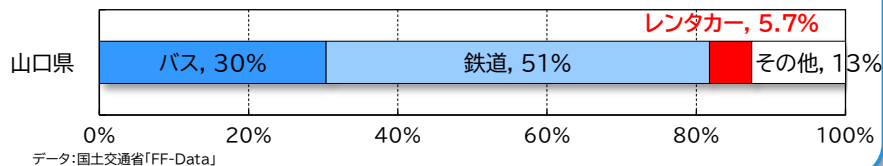
【エリア概要】

山口県の県庁所在地であり、県内の各方面への交通が集まる県内有数の交通結節点。近年は瑠璃光寺がニューヨーク・タイムズ紙が発表した「2024年に行くべき52カ所」に選ばれるなど、国内外で注目が高まっているエリア。

主な観光地	瑠璃光寺、湯田温泉
主な交通施設	山口駅、新山口駅

■地域でのレンタカーの利用状況

山口県は外国人観光客のレンタカー利用者割合が5.7%と中国地方でも低い県となっている。バス利用が多いのが特徴である。



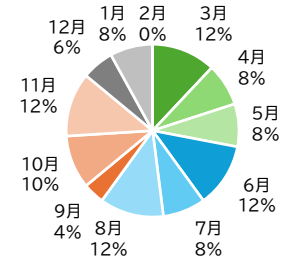
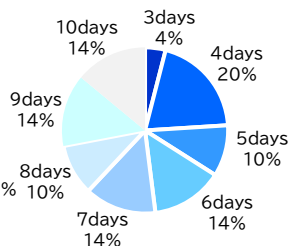
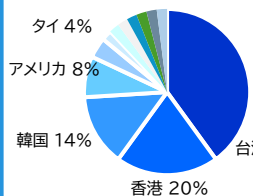
レンタカー利用者の傾向

山口エリアのレンタカー利用は、台湾の旅行者が多く、また他のエリアと比べアメリカからの旅行者割合も多い。利用期間は4日と短期が多く。夏季の来訪者が多い傾向にある。

■市場

■利用期間

■利用時期



■主な出発地

出発地	割合
岡山空港・岡山駅エリア	18%
広島空港エリア	10%
廿日市・宮島エリア	6%
下関エリア	6%
美祢市エリア	6%

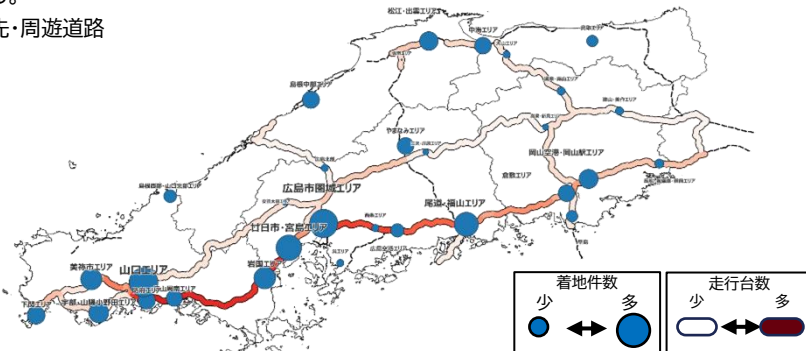
山口エリアは、岡山空港・岡山駅エリアや広島空港エリアから周遊してくる人の割合が多い傾向にある。
※山口エリア、中国地方外発は除く

データ:訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ

レンタカー利用者の周遊傾向

山口エリアを周遊するレンタカー利用者は、主に山陽道を利用して岡山空港・岡山駅エリアや広島市圏域エリアなどを周遊している。また、しまなみ海道等を走行し四国方面への周遊も多く確認できる。

■周遊先・周遊道路



■周遊パターン

全体順位	周遊パターン	全体割合
1822	広島市圏域エリア → 廿日市・宮島エリア → 山口エリア	0.5%
2147	広島市圏域エリア → 岩国エリア → 山口エリア	0.4%
2419	廿日市・宮島エリア → 岩国エリア → 山口エリア	0.4%
2524	尾道・福山エリア → 広島市圏域エリア → 山口エリア	0.4%
3194	廿日市・宮島エリア → 山口エリア → 美祢市エリア	0.3%

データ:訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ ※別の周遊エリアも含む代表的な3箇所周遊パターン

レンタカー利用者の滞在傾向

■滞在時間

※山口エリアは山口宇部道路(無料区間)の接続エリアのため滞在時間は参考値(例:宇部までの往復移動等が含まれる場合もある)また、サンプル数が少なく、且つ複数のICが隣接しており、利用ICが分散している点も留意が必要である

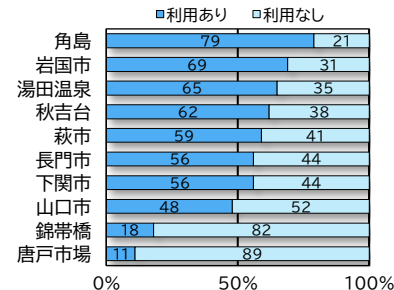
IC名	滞在時間	滞在時間(宿泊除)
湯田温泉スマートIC	3:03	0:30

データ:訪日外国人観光客のレンタカーによる高速道路利用データ

エリアの独自情報

■訪問先別レンタカー利用率

訪問先(観光地)によって、訪日外国人のレンタカー利用状況は大きく異なる。



データ:山口県外国人観光客動向調査(2019)